

課題	計画目標	年度[目標値]	実施計画等	結果	MR 評価	事業報告結果コメント
[A] MP (事業基盤)	1.総サービス提供高	218,423,205 円	2020 年度大項目算定根拠資料	212,897,791 円	A	月平均長期入居者 60 名(内特定 25 名) 契約入居者 5 名を目指していたが、長期入居者 58 名と伸び悩み収入アップに繋がらなかった。コロナの影響で外国人技能実習生の配属が無く総時間の減少にて時間当りは達成している。
	2.経費合計	69,423,465 円	時間当たり前年度対比+1.8%	67,448,563 円		
	3.差引収益	148,999,740 円		145,449,228 円		
	4.総時間	67,117.00H		60,610.82H		
	5.時間当り	2,220.00 円		2,399.7 円		
[B] 顧客満足・ サービス 向上	1. お客様のサービス・ 支援に対する満足度把握	随時 90%	1-1 山鳩の会、のぞみの箱、嗜好 調査等による吸上げによる 1-2 独自アンケート調査実施	山鳩の会年 3 回 嗜好調査年 1 回 アンケート調査 1 回 満足度 68.5%	B	山鳩の会で要望 5 件(買い物希望・行事、娯楽の希望等)嗜好調査での満足度 71%。(課題：食事の適温)介護のアンケート内容に不備あり把握不足。
	2. お客様からの苦情対応	5 件	2-1 山鳩の会、のぞみの箱、セーフティネットオンブズマン等からの吸上げにて対応	4 件	B	山鳩の会の懇談会よりトイレの汚れに関する苦情 3 件、夜間帯の騒音に対する苦情 1 件あり。履物の履き替え未解決
[C] 教育訓練	1.内部教育件数	20 件	内部研修報告書	21 件	A	予定通り実施出来た
	2.外部教育件数	20 件	外部研修報告書	8 件	B	コロナ感染症の影響あり未達
	3.外国人教育の定着	毎月	研修計画により実施	未実施	C	新型コロナウイルス感染症の影響で技能実習生の入国無し
	4.有資格者の増	2 人	社会福祉士・介護支援専門員	0 人	C	未受験

[D] リスク予知対策活動	1.リスク予知活動	300件	1-1 ヒヤリハット活動	289件	B	11件不足で未達。
		5件	1-2 リスク予知対策発動	11件	A	予定以上に発令件数あり。
	2.事故防止活動	年 2回	2-2 事故防止対策マニュアル見直し・勉強会実施	年 2回	A	予定通り実施。
[E] 改善活動	1.作業環境改善活動	福祉機器等導入 職員満足 80%	ノンリフティングケアの推進 福祉機器等導入、職員教育実施 職員満足度にて効果の確認	福祉機器未導入 アンケート調査 結果（腰の負担変わらない） 63%	B	予定していた福祉機器の効果の確認を得られず導入を見合わせた為、職員のアンケートを実施するも満足度が低かった。
	2.改善研究レポート	3件	『改善のステップ』により課題解決を進める	3件	A	『自立支援～傾向を可視化』 『契約入所受入れ体制マニュアル化』 『安定した食事提供』
	3.ミニ改善活動	3件	『ミニ改善記録報告書』による	3件	A	『洗濯場の改善』『厨房内/配膳台の改善』『娯楽室の改善』
[F]他	1.防災対策活動	1回	防災マニュアルの見直し	1回	A	令和3年2月1日改定
		2回	地域協力員を交えた避難訓練	0回	C	コロナウイルス感染症の影響にて感染拡大防止のために地域との交流はすべて見合わせている。
	2.地域交流活動	3回	周辺地域住民を施設行事へ招待	0回	C	
		5回	保育園・小学校等の行事、周辺地域の行事参加	0回	C	
	3.地域広報活動	4回	施設広報誌、ユートピアの配布	4回	A	施設広報誌は、家族向け含め7回発行している

MR 評価基準	[評価：S（スペシャル）]大幅な成果を上げた場合
	[評価：A]計画値達成の場合
	[評価：B]計画値未達成の場合
	[評価：C]計画未着手の場合

課題	計画目標	年度[目標値]	実施計画等	結果	MR 評価	事業報告結果コメント
[A] MP (事業基盤)	1.総サービス提供高	311,345,548円	長期60名・短期11名	313,186,001円	A	夜勤配置加算算定にて収入増
	2.経費合計	81,095,621円	ドラレコ3台・福祉用具	80,850,463円		コロナ自粛にて支出減
	3.差引収益	230,249,927円		232,335,538円		前年比 101%
	4.総時間	85066.78H	技能実習生2名・常勤1名増	85,443.81H		年度初めより職員常勤換算3名増
	5.時間当たり	2,706.7円	前年度比92.98%	2,719.2円		前年比 100.5%
[B] 顧客満足・ サービス 向上	① マナー・挨拶取組み	80%	職員満足度アンケート2回・研修	26%	B	大変満足6% 満足20% 普通59%
	② 苦情受付	5件		3件	B	面会、家族から職員への苦情等
	③ オブズマン情報取組	2件		0件	C	コロナ禍にて来所実績なし。
[C] 教育訓練	1.内部教育件数	12件		12件	A	各委員会、認定看護師による研修×2
	2.外部教育件数	10件	ユマニユード・食事嚥下他	14件	A	ZOOM研修増加、喀痰、メンター等
	3.有資格	3名	アセッサー・喀痰・介護実習指導員	2名	B	喀痰吸引1名、介護福祉士1名

[D] リスク予知対策活動	①ヒヤリハット取り組み	300 件	転倒・短期入所者所持品忘れ	254 件	B	他リスク予知 6 件、事故報告書 6 件
	②指針の見直し	3 件	看取り・事故・身体拘束	3 件	A	全委員会指針作成
[E] 改善活動	①QOL向上	1 件	食形態（トロミの統一）	1 件	A	毎月トロミ委員会実施、統一化達成
	②A改善スキルチェック	1 件	指導方法統一・ユマニユード	1 件	A	プリセプター制度新卒 3 名実施
	③B改善	3 件	マナー・看取り・ノーリフト	3 件	A	各委員会にて業務改善実施。
[F]他	1.防災対策活動	6 回	地域防災 2 回（防災用品のデモ）	4 回	B	通報訓練 2 回、総合訓練 2 回
	2.地域交流活動	2 回	夏祭り・年越し祭	0 回	C	規模縮小にてふれあい祭り、忘年会
	3.地域広報活動	2 回	地域ボランティア・人材含む	2 回	A	デリバリーボランティア 3 名実績

MR 評価基準	[評価：S（スペシャル）]大幅な成果を上げた場合
	[評価：A]計画値達成の場合
	[評価：B]計画値未達成の場合
	[評価：C]計画未着手の場合

課題	計画目標	年度[目標値]	実施計画等	結果	MR評価	事業報告結果コメント
[A] MP (事業基盤)	1.総サービス提供高	82,409,022円	2020年度MP及び大項目算定	83,073,836円	A	入居率 99.6%と入院による空床、入退居時は2日の空床で対応できた。経費では、コロナ補助金を活用し、衛生環境の対策実施。時間は有給休暇が予定より少ない付与であった。時間当りの目標値達成。
	2.経費合計	33,386,639円	根拠資料参照	33,062,004円		
	3.差引収益	49,022,383円		50,011,832円		
	4.総時間	24,197H		24,240.0H		
	5.時間当たり	2,026円		2,063.2円		
[B] 顧客満足・ サービス 向上	1.お客様の声 (要望・苦情・満足の声)	要望・苦情 20件 満足の声 20件	菜々の会定例懇談会・運営懇談会・外部機関等による収集	苦情 3件 要望 36件 満足の声 26件	A	・菜々の会開催時に行事内容等について毎月数件の要望・満足あり ・行事 26件実施、満足の声あり ・ケアプラン年2回改訂時に要望等を反映し計画作成している。
	2.CS結果(職員対応満足)	98%	CS実施予定	—	C	法人全体外部調査は実施せず。
	3.CS結果(サービス内容満足)	98%	CS実施予定	—	C	同上
[C] 教育訓練	1.内部教育件数	12件	教育訓練計画書	11件	B	11月介護技術研修を除き毎月実施。
	2.外部教育件数	5件	(認定特定行為従業者資格 認知症等)	5件	A	新型コロナウイルス感染拡大防止の影響により外部研修は2件のみ。他はオンライン研修1件、実務者研修2件。

[D] リスク予知対策活動	1.ヒヤリハット件数	150 件	ヒヤリハット記録書	1 1 5 件	B	目標値には未達成であるが、事故防止対策チーム活動を中心に予防活動ができた。
	2.リスク予知対策書発行	15 件	リスク予知対策書	1 2 件	B	ヒヤリハットからリスク対策の活動ができた。
	3.KYT 研修	2 回	教育訓練計画書	3 回	A	研修を通じ多角的な視点をもつことができた。
[E] 改善活動	1.業務改善	2 件	改善計画書（記録書・業務）	5 件	A	以下のサービス向上チーム活動の実践が出来た。 ・記録改善チーム ・食事サービスチーム ・排泄ケアチーム ・リハビリチーム ・身体拘束廃止委員会
	2.省エネ対策	光熱水費削減率 前年比 5%	松園省エネ委員会（拠点）	前年比 13.6%減	A	ガス空調設備更新時期を控え、各業者より情報収集し省エネ対策に向けた検討を実施中。
[F]他	1.防災対策活動	年 3 回	総合防災訓練、炊き出し訓練	3 回	A	内部訓練にて実施
	2.地域交流活動	年 6 回	夏祭り、餅つき、歌声サロン等	0 回	C	内部行事に切替実施
	3.地域広報活動	年 2 回	行事等	0 回	C	未実施

MR 評価基準	[評価：S（スペシャル）]大幅な成果を上げた場合	[評価：A]計画値達成の場合
	[評価：B]計画値未達成の場合	[評価：C]計画未着手の場合

課題	計画目標	年度[目標値]	実施計画等	結果	MR 評価	事業報告結果コメント
[A] MP (事業基盤)	1.総サービス提供高	163,886,470円	※・入居稼働率 100% ・平均介護度 2.3⇒2.9へ ・食事代 1日 120円値上げ ・夜間看護体制加算取得 ・医療機関連携加算取得	158,638,594円 4/1 値上げ済 6/1 実施済 9/1 実施済	A	1.総サービス提供高については稼働率 92%(入院退去等)や平均介護度 2.41により目標値には至らなかったが取得可能な加算はすべて予定通り実施。2.経費合計は目標値より 1,030,553円減となり主に電気代はこれまでの6年間の中で一番の節減となった。3.差引収益は目標値に至らなかったが 4.総時間が急遽入院職員の発生により大幅な減となった。結果 5.時間当たりが目標値に達した。
	2.経費合計	79,573,690円	全体経費を前年度より約 820,000円減	78,543,137円		
	3.差引収益	84,312,760円	※同様	80,095,457円		
	4.総時間	46,570.00H	効率の良い人員体制の継続 ・必要時お仕事説明会の開催 残業ゼロを目指す	43,481.00H		
	5.時間当たり	1,810.5円	※同様 ・前年度より 171円増	1,842.1円		
[B] 顧客満足・ サービス 向上	1.お客様要望・苦情	20件	随時受付、調査の実施	12件	B	給食アンケートより要望その他
	2.給食アンケート調査	入居者数	4月実施、メニューの改善	献立2品改善	A	給食アンケート参照
	3.第3回職員満足度調査	満足度 70%以上	調査の実施・改善	70%以上ならず	B	アンケートのみ数値確認できず
[C] 教育訓練	1.内部教育件数	25件	教育訓練計画書にて実施 ・専門部会研修の参加	24件	B	教育訓練計画書参照 目標値に至らなかった
	2.外部教育件数	8件	関係団体の研修に参加	8件	A	オンライン研修含む
	※医療研修実施	2名	喀痰吸引研修 2名 ※現在 5名	0名	C	実施できず

[D] リスク予知対策活動	ヒヤリハット件数	100 件	記録書	173 件	S	記録書参照
	リスクマネジメント	4 件	KYT 研修開催	4 件	A	5、9、2、1月に実施
	リスク対策報告書	5 件	リスク対策報告書発行	25 件	S	記録書参照
[E] 改善活動	業務改善	1 件	介護記録書の改善・運用	改善済み	A	記録簡素化・運用
			職員満足度の改善	改善できず	B	満足度アンケート調査実施のみ
			介護プロセスの明確化	改善済み	A	記録改善により明確化となる
	1 件	看護業務の見直し	改善済み	A	配薬手順書の見直し・完成	
	1 件	各委員会活動の運営・手順書	右記手順書完成・運用済み	A	身体拘束廃止委員会運営マニュアル 感染・事故防止委員会運営マニュアル	
[F]他	1.防災対策活動	2 回	防災マニュアルの完成・運営 ・マニュアルに沿った訓練	2 回	A	防災マニュアル完成・訓練実施
	2.地域交流活動	7 回	地域寺子屋交流行事開催 (4)	0 回	C	感染症コロナウイルスにて予定通り実施できず
			第3回地域交流祭の開催 (1)			
	3.地域広報活動	6 回	施設広報誌の作成・配布	5 回	B	目標値には至らなかった
			4.労災・車両事故ゼロ			
5.地球温暖化対策	2 回	研修会の参加	0 回	C	会議での実施のみとなった	

MR 評価基準	[評価：S (スペシャル)]大幅な成果を上げた場合
	[評価：A]計画値達成の場合
	[評価：B]計画値未達成の場合
	[評価：C]計画未着手の場合

課題	計画目標	2020年度 [目標値]	実施計画等	結果	MR 評価	事業報告結果コメント
[A] MP (事業基盤)	1.総サービス提供高	81,653,140円	R2年度MP 大項目算定根拠資料	81,202,551円	A	稼働率97.8%で、満床は6カ月のみ、コロナ予防対策の為短期や新規の受入れに時間を要したが、軽費と時間のコントロールができ目標値を超えることができた。
	2.経費合計	30,974,799円		30,489,872円		
	3.差引収益	50,678,341円		50,712,679円		
	4.総時間	26,670.0H		24,858H		
	5.時間当り	1,900.0円		2040.1円		
[B] 顧客満足・ サービス 向上	1.職員接遇満足度調査	年2回	お客様・ご家族へ調査等実施 改善活動の実施	2回実施	A	職員への接遇ができているかのアンケートに切り替え実施しています。
	2.ユニット活動を充実させる	毎月	・ユニット会議で「個々の支援」 「活動」について検討し実施 ・ユニットリーダー研修1名受講	・12/12回 ・ユニットリーダー1名受講	A	外出支援を予定していたが、実施できず、ユニット活動に切替えています。
[C] 教育訓練	1.内部教育件数	7件	教育訓練計画表に策定	10件	A	伝達研修を追加実施。
	2.外部教育件数	10件	介護・看護職員1件以上の受講	7件	B	感染予防のため、不参加もありました。
	3.特定行為従事者認定者増	対象1名	特定行為業務従事者認定証取得	1名	A	予定通り。
	4.技能実習生教育の実践	1件	研修計画策定	0件	C	来日出来ず。

[D] リスク予知対 策活動	1.介護・看護ヒヤリ分析	年4回	事故防止委員会活動 (アセスメント・情報統合力向上)	年4 回実施	A	分析方法を検討しながら実施 しています。
	2.危機管理及び緊急時 対応の整備	100%	事故や救急を想定した訓練実施 大規模災害に備えた備蓄の整備	80%	B	物品はそろったが、発電機の管 理は要検討。
[E] 改善活動	1. 特浴利用率の減少	30%減	リハビリ、介護機器等の導入 浴室環境の改善	30%減	A	10名から7名へと成果ありまし た。
	2.ノーリフトケアの定着	100%	移乗介護対象者へのケア実践	100%	A	持ち上げない介護が定着しまし た。
	3.働き方改善 ②有給休暇取得率	70%	働き方改革委員会の活動に策定	84%	A	有給計画通り取得できていま す。
[F]他	1.防災対策活動	年6回	防災訓練年間計画 (地域防災活動への参加含む)	2回	B	消防署立会は未実施。また、人 員不足の為、実施できていま せん。
	2.地域交流活動	年4回	年間スケジュールに策定	1回	B	感染予防のため計画を実施でき ませんでした。
	3.地域広報活動	年4回	町内会回覧板への発行 HP 記事収集・提供	年4回	A	予定通り。

MR 評価基準	<p>[評価：S (スペシャル)]大幅な成果を上げた場合</p> <p>[評価：A]計画値達成の場合</p> <p>[評価：B]計画値未達成の場合</p> <p>[評価：C]計画未着手の場合</p>
---------	--

課題	計画目標	2020年度 [目標値]	実施計画等	結果	MR 評価	事業報告結果コメント
[A] MP (事業基盤)	1.総サービス提供高	77,515,410円	入居率100%を維持する。	76,333,917円	B	入居率99.2%にて未達成、入院者1名にて空床ができた。感染対策の経費増となった。特別室2分割の計画もできず。職員協力のもと連続有給取得ができた。介護度平均低く、減となった。
	2.経費合計	29,614,666円	計画的に進め経費最少とする。	30,402,780円		
	3.差引収益	47,900,744円	特別室利用方法を検討する。	45,931,137円		
	4.総時間	24,922.0H	計画的有給の促しをする。	25,728H		
	5.時間当り	1,922.0円	進捗管理する。	1,785.2円		
[B] 顧客満足・ サービス 向上	1.お客様の要望・苦情	7件	聞き取り調査実施する。	1件	B	買い物の要望→移動販売依頼
	2.職員満足度調査	年1回	職員満足度調査実施	年1回	A	職員の意見を把握し、検討した。
	3.余暇活動の推進	月1回	誕生会等のイベントを予定。	月1回	A	毎月実施、楽しんで頂いた。
	4.外出支援	4月～12月	ドライブや食事を含め対応。	3回	A	イベント企画に変更し実施
	5.嗜好調査	年1回	結果からお食事会を開催する。	1回	A	スイーツバイキング・BBQ実施
[C] 教育訓練	1.内部教育件数	15件	教育訓練・伝達研修	13件	A	計画通り実施
	2.外部教育件数	11件	階層別研修・専門的分野研修	5件	B	開催中止もあり5件のみ
	3.認知症実践者研修	1件	認知症実践者研修取得	0件	B	三沢市対象とならず、次年度
	4.喀痰吸引等研修	1件	喀痰吸引等取得	1件	A	資格取得1名
	5.技能実習生教育	1件	研修計画策定		C	感染予防にて実施せず

[D] リスク予知対策活動	1.ヒヤリハット件数	90件	1週間に1件以上の報告とする。	225件	S	毎夕の聞き取りで意識できた
	2.ヒヤリ分析	年4回	6月・9月・12月・3月	4回	A	事故対策委員会中心に分析実施
	3.リスク対策報告書件数	5件	危険予知に備え防止策とする。	51件	S	対策を統一し再発防止する
	4.感染対策	随時	感染症発生時の対策	随時	A	勉強会の実施・マニュアル周知
	5.防災対策		毎月避難訓練等の実施	毎月	A	体制を変えて毎月実施
[E] 改善活動	1.ターミナルケア	書類整理	加算取得を目標とする。		B	人員不足取得なし・研修のみ
	2.ユニットケア	毎月	ユニットミーティングの開催	毎月	A	活発な意見交換ができた
	3.介護技術向上	50%	福祉用具活用・ノーリフティング技術習得・	50%	A	今年度の目標達成・ノーリフティング推進委員会にて定着する
	4.おむつ外し	30%	現在45%→目標30%	20%	A	日中20%達成
	5.5S活動	週1回	安全パトロール実施	週1回	A	腰痛対策活動を強化
[F]他	1.防災対策活動	2回	火災訓練・搬送訓練	3回	A	避難所としての動きを確認
	2.地域交流活動	2回	介護予防・お茶っこサロン	0回	C	感染予防のため実施せず。
	3.地域広報活動	4回	町内会回覧板への発行・HP	4回	A	HPへ積極的に掲載し、回覧板は計画通り達成する。

MR 評価基準	<p>[評価：S（スペシャル）] 大幅な成果を上げた場合</p> <p>[評価：A] 計画値達成の場合</p> <p>[評価：B] 計画値未達成の場合</p> <p>[評価：C] 計画未着手の場合</p>
---------	--

課題	計画目標	年度[目標値]	実施計画等	結果	MR 評価	事業報告結果コメント
[A] MP (事業基盤)	1.総サービス提供高	97,382,480 円	大項目策定根拠資料	96,735,657 円	B	要介護が低下した結果
	2.経費合計	35,267,203 円	〃	34,586,879 円		収入減により経費抑制した結果
	3.差引収益	62,115,277 円	〃	62,148,778 円		経費抑制したが収入減が要因
	4.総時間	31,530.5 H	〃	28,421.0H		時間減は採用不活発の結果
	5.時間当り	1,970.0 円	〃	2,187.0 円		総時間減による結果
[B] 顧客満足・ サービス 向上	1.月行事の運営	12 回	担当制で企画運営	8 回	B	コロナ渦でも工夫した結果
	2.喫茶の日の運営	12 回	ボランティアと協同運営	0 回	C	コロナ渦のため未実施
	3.機能訓練の定着	6 人/日	日課（各 U）の改訂	2.2 人/日	B	総時間減による結果
[C] 教育訓練	1.内部教育件数	12 件	教育訓練計画表	6 件	B	集合研修(3密)に難航した結果
	2.外部教育件数	10 件	研修要綱	6 件	B	人員不足での結果
	3.技能実習生教育件数	12 件	教育訓練計画表	0 件	C	コロナ渦のため未実施

[D] リスク予知対策活動	1.ヒヤリハット件数	60件	記録システムで収集	85件	A	システムと意見相違した結果
	2.リスク予知対策書	5件	月間スローガンに反映	1件	B	改善活動が不活発の結果
[E] 改善活動	1.ノーリフト [®] の試み	腰痛の減少	プロセス改善	基本技術に止まった結果	B	
	2.看取り介護の改良	加算の算定	プロセス改善	未着手の結果	C	
[F]他	1.防災対策活動	2回	地震、停電対策	0回	C	コロナ渦のため未実施
	2.地域交流活動	3回	夏祭り、サロン	0回	C	コロナ渦のため未実施
	3.地域広報活動	4回	学校、公共施設、FB	0回	C	コロナ渦のため未実施

MR 評価基準	<p>[評価：S（スペシャル）]大幅な成果を上げた場合</p> <p>[評価：A]計画値達成の場合</p> <p>[評価：B]計画値未達成の場合</p> <p>[評価：C]計画未着手の場合</p>
---------	--

課題	計画目標	2020年度 [目標値]	実施計画等	結果	MR 評価	事業報告結果コメント
[A] MP (事業基盤)	1.総サービス提供高	73,366,970円	R2年度MP 大項目算定根拠資料	67,650,351 円	A	会員は92%で、平均23名でした。 長期的に宿泊されていた方 の終結も含め、宿泊が70%を切った 月が6カ月あったことが収入減の ではあったが、経費と時間のコント ロールができ目標値を超えることが できた。
	2.経費合計	18,074,806円		17,133,556 円		
	3.差引収益	55,292,164円		50,516,795 円		
	4.総時間	25,539.0H		23,272H		
	5.時間当り	2,165.0円		2170.7円		
[B] 顧客満足・ サービス 向上	1.職員接遇満足度向上 (調査)	年2回	お客様・ご家族へ調査等実施 改善活動の実施	1回	B	実施方法の検討に時間を要し、1回の 実施にとどまりました。
	2.外出の機会を提供する	月2回	個別ニーズ理解し暮らしの支援 を实践	月0~1回	B	新型コロナ感染対策の為、回数は多く 実施できませんでした。
[C] 教育訓練	1.内部教育件数	7件	教育訓練計画表に策定	9件	A	伝達研修を盛り込み実施することが できました。
	2.外部教育件数	10件	介護・看護職員1件以上の受講	2件	B	感染予防のため、参加できない研修が ありました。
	3.特定行為従事者認定者増	対象2名	特定行為業務従事者認定証取得	1名	B	対象職員1名退職の為。
	4.技能実習生教育の实践	1件	研修計画策定に基づき実施	0件	C	来日できず。

[D] リスク予知対策活動	1.介護・看護ヒヤリ分析	年4回	事故防止委員会活動 (アセスメント・情報統合力向上)	年4回	A	分析の方法を検討しながら実施。
	2.危機管理及び緊急時対応の整備	100%	事故や救急を想定した訓練実施 大規模災害に備えた備蓄の整備	80%	B	細かな備蓄品は確保できた。発電機の管理に課題があります。
[E] 改善活動	1.ミーティングの充実	毎月	お客様理解を深め「個々の支援」 について検討	7回	B	下半期より実施し、1月に2回実施できたこともありました。
	2.転倒予防の取組み	対象5名	自宅での転倒を予防する	8名	A	PT に評価していただき、意欲を持って取り組むことができました。
	3.働き方改革 ②有給休暇取得率	70%	働き方改革チームの改善活動	63.5%	B	退職者もあったため、取得が困難でした。
[F]他	1.防災対策活動	年6回	防災訓練年間計画 (地域防災活動への参加含む)	2回	B	消防署立会は未実施。また、人員不足の為、実施できませんでした。
	2.地域交流活動	年4回	年間スケジュールに策定	1回	B	コロナ感染予防のため計画を実施できませんでした。
	3.地域広報活動	年4回	町内会回覧板への発行 HP 記事収集・提供	年4回	A	予定通り。

MR 評価基準	<p>[評価：S (スペシャル)]大幅な成果を上げた場合</p> <p>[評価：A]計画値達成の場合</p> <p>[評価：B]計画値未達成の場合</p> <p>[評価：C]計画未着手の場合</p>
---------	--

課題	計画目標	年度[目標値]	実施計画等	結果	MR 評価	事業報告結果コメント
[A] MP (事業基盤)	1.総サービス提供高	80,334,390円	会員の定着	77,142,948円	B	介護度低い方が多かった。感染対策の経費増となった。宿泊満床を計画したが50%超えが6回のみで未達。人員不足でも協力して有給取得できた。結果時間あたりは未達成であった。
	2.経費合計	21,603,771円	計画的に進め経費最少とする。	22,098,469円		
	3.差引収益	58,730,619円	保険外費増を見込む。	55,044,477円		
	4.総時間	25,130.5H	計画的有給の促しをする。	24,888H		
	5.時間当り	2,337.0円	進捗管理する。	2,211.7円		
[B] 顧客満足・ サービス 向上	1.職員満足度調査	年1回	職員満足度調査実施	年1回	A	今後の改善目標がみえた。
	2.余暇活動の推進	月1回	イベントを予定。	月1回	A	計画的に実施できた。
	3.外出支援	4月～11月	季節に応じたドライブや買い物	0回	C	感染予防のため実施せず。
	4.嗜好調査	年1回	結果からお食事会を開催する。	1回	A	人数制限にて外食を実施。
[C] 教育訓練	1.内部教育件数	12件	教育訓練・伝達研修	12件	A	毎月予定通り実施できた。
	2.外部教育件数	12件	専門的分野研修	1件	C	感染予防のため実施せず。
	3.認知症実践者研修	1件	認知症実践者研修取得	1件	A	資格取得できた。
	4.技能実習生教育	1件	研修計画策定	0件	C	感染予防のため実施せず。

[D] リスク予知対策活動	1.ヒヤリハット件数	90 件	1 週間に 1 件以上の報告とする。	125 件	S	1 週間に 1 件以上の報告があり
	2.ヒヤリ分析	年 4 回	6 月・9 月・12 月・3 月	4 回	A	分析により分類できた。
	3.リスク対策報告書件数	3 件	危険予知に備え防止策とする。	48 件	S	早い段階での予防となっている
	4.感染対策	随時	感染発生時期の予防対策	月 1 回	A	拠点委員会発信から対策推進
	5.防災対策		毎月の避難訓練の実施	月 1 回	A	毎月実施できた。
[E] 改善活動	1.カンファレンス実施	週 1 回	お客様のケア内容の確認	月 1 回	B	検討後、情報共有の周知不足
	2.福祉用具の定着	50%	ノーリフティング等の技術	30%	B	セルフケアのみで技術研修なし
	3.5S 活動	週 1 回	安全パトロール	週 1 回	A	週 1 回の巡回にて管理
[F]他	1.防災対策活動	2 回	火災訓練・搬送訓練	3 回	A	地震対応の訓練実施
	2.地域交流活動	2 回	介護予防・お茶っこサロン	0 回	C	感染予防のため実施せず
	3.地域広報活動	4 回	町内会回覧板への発行・HP	4 回	A	実施・HP には随時投稿

MR 評価基準	[評価：S (スペシャル)]大幅な成果を上げた場合
	[評価：A]計画値達成の場合
	[評価：B]計画値未達成の場合
	[評価：C]計画未着手の場合

課題	計画目標	年度[目標値]	実施計画等	結果	MR 評価	事業報告結果コメント
[A] MP (事業基盤)	1.総サービス提供高	72,666,070 円	大項目策定根拠資料	60,584,625 円	B	定員割れによる減収した結果
	2.経費合計	21,880,947 円	〃	18,933,301 円		収入減により経費抑制した結果
	3.差引収益	50,785,123 円	〃	41,651,324 円		経費抑制したが収入減が要因
	4.総時間	27,452.0 H	〃	21,133.0H		時間減は採用不活発の結果
	5.時間当り	1,850.0 円	〃	1,971.0 円		総時間減による結果
[B] 顧客満足・ サービス 向上	1.月行事の運営	12 回	担当制で企画運営	12 回	A	コロナ渦でも工夫した結果
	2.喫茶の日の運営	12 回	ボランティアと協同運営	0 回	C	コロナ渦のため未実施
	3.クラブ活動の運営	3 回/週	〃	0 回/週	C	コロナ渦のため未実施
[C] 教育訓練	1.内部教育件数	12 件	教育訓練計画表	6 件	B	集合研修(3密)に難航した結果
	2.外部教育件数	10 件	研修要綱	3 件	B	人員不足での結果
	3.技能実習生教育件数	12 件	教育訓練計画表	0 件	C	コロナ渦のため未実施

[D] リスク予知対策活動	1.ヒヤリハット件数	60件	記録システムで収集	49件	B	システムと意見相違した結果
	2.リスク予知対策書	5件	月間スローガンに反映	1件	B	改善活動が不活発の結果
[E] 改善活動	1.リスクマネジメントの改善	1件	プロセス改善	0件	C	未着手の結果
	2.食事お届けサービスの改良	200件/月	プロセス改善	80件/月	B	会員のニーズ減少した結果
[F]他	1.防災対策活動	2回	地震、停電対策	0回	C	コロナ渦のため未実施
	2.地域交流活動	3回	夏祭り、サロン	0回	C	コロナ渦のため未実施
	3.地域広報活動	4回	学校、公共施設、FB	0回	C	コロナ渦のため未実施

MR 評価基準	<p>[評価：S（スペシャル）]大幅な成果を上げた場合</p> <p>[評価：A]計画値達成の場合</p> <p>[評価：B]計画値未達成の場合</p> <p>[評価：C]計画未着手の場合</p>
---------	--

課題	計画目標	年度[目標値]	実施計画等	結果	MR 評価	事業報告結果コメント
[A] MP (事業基盤)	1.総サービス提供高	40,871,691円	2020年度MP及び大項目算定	40,884,486円	B	2名入退所を計画的に対応し入居率100%を維持できた。経費では、コロナ補助金を活用し、衛生環境の対策実施。4月改定予定であった光熱水費の値上げは下期より実施。12月より訪問看護への業務委託費支払い80%に変更し差引収益は増。時間当りは未達成。
	2.経費合計	15,576,468円	根拠資料参照	15,465,316円		
	3.差引収益	25,295,223円		25,419,170円		
	4.総時間	14,207H		14,280H		
	5.時間当たり	1,780.5円		1,780.1円		
[B] 顧客満足・ サービス 向上	1、CS結果(サービス満足)	90%以上	CS実施予定	—	C	法人全体外部調査は実施せず。
	2、お客様の声 (要望・苦情・満足の声)	90%以上	CS実施予定	満足の声 90%	A	お客様からのアンケート1回実施。食事に関しては、毎月給食会議にて要望・苦情等を改善している。お好み会行事年12回実施、満足の声あり。コロナ禍での面会制限のためお客様の状況報告年3回実施。ご家族様より満足の声あり、顧客満足サービスの目標達成。
	3、QOLの向上	年4回	重度化・終末期に対して	6回	A	ターミナルについての勉強会、終末期を考えられたお客様に対しカンファレンス実施。
[C] 教育訓練	1.内部教育件数	10件		12件	A	内部研修毎月実施。
	2.外部教育件数	3件	ユマニチュード、ノーリフトケア、認知症等	3件	A	外部研修 3件

[D] リスク予知対策活動	1. ヒヤリハット件数	55件	ヒヤリハット記録書	102件	S	目標値達成
	2. リスク予知対策書	3件	リスク予知対策書	4件	A	目標値達成。ヒヤリハットからリスク対策の活動できた。
	3. KYT 研修	2回	教育訓練計画書	2回	A	目標値達成。
[E] 改善活動	1. 省エネ対策	光熱水費使用 前年比5%削減	松園省エネ委員会(拠点)	前年比13.6%減	A	ガス空調設備更新時期を控え、各業者より情報収集し省エネ対策に向けた検討を実施中
	2. 業務改善	2件	改善計画書	2件	A	ケアマネジメントについて職員で周知できた。
[F]他	1. 防災対策活動	年3回	総合訓練、炊き出し訓練	3回	A	内部訓練にて実施
	2. 地域交流活動	年6回	夏祭り、餅つき、歌声サロン等	0回	C	内部行事に切り替え実施
	3. 地域広報活動	年6回	運営推進会議、ホームページ・行事等	4回	B	運営推進会議 4回開催 (コロナ禍により2回中止)

MR 評価基準	<p>[評価：S (スペシャル)] 大幅な成果を上げた場合</p> <p>[評価：A] 計画値達成の場合</p> <p>[評価：B] 計画値未達成の場合</p> <p>[評価：C] 計画未着手の場合</p>
---------	--

課題	計画目標	年度[目標値]	実施計画等	結果	MR 評価	事業報告結果コメント
[A] MP (事業基盤)	1.総サービス提供高	37,835,415円	2020年度MP及び大項目算定根拠資料	36,129,719円	B	保険外の料金改定、医療連携体制加算Ⅰの取得を4月から見込んだ目標数値であったが、保険外は5月、医療連携は11月とずれ込み目標値よりマイナスとなった。 ※年間平均稼働率99.2%
	2.経費合計	7,642,668円	加算の見直し	7,379,806円		
	3.差引収益	30,192,747円	待機者管理の徹底	28,749,913円		
	4.総時間	13,724.00H	※2019年度 時間当たり 人件費 2,185.5円	13,733.0H		
	5.時間当り	2,200円	※2019年度MP時間当たり 2,080.0円	2093.5円		
[B] 顧客満足・ サービス 向上	サービス内容満足	100%		80%	B	1年間の笑顔アルバムを作成しご家族へ送付
	行事計画等改善				A	外出以外計画通り実施できた。
	苦情・要望の吸い上げ		入居者からの苦情・要望の聞き取り実施。	3件	A	随時対応
			ご家族からの苦情・要望アンケート実施。	1件	B	アンケート用紙配布の調査実施できず、面会時の聞き取りと運営推進会議等より要望頂き対応。
[C] 教育訓練	1.内部教育件数	8件	教育訓練計画書(エリア含む)	15件	A	拠点研修8件、GH内研修7件
	2.外部教育件数	5件		1件	B	外出制限にて1件のみ

[D] リスク予知対策活動	ヒヤリハット件数	50(件)	ヒヤリハット／発生事故記録書	43(件)	B	事故発生記録書 (2件)
	リスク対策報告書発行件数	3(件)	リスク対策報告書	3(件)	A	対策を講じ事故予防ができて
						いる。
[E] 改善活動	介護の質を上げる	9(件)	QOL改善 (要介護度の軽減)	9(件)	A	要介護度の軽減に繋がらず、維持継続
	介護プロセスの改善	9(件)	アセスメント・プランの明確化	9(件)	A	2019年作成シート利用し実施中
	介護記録	9(件)	介護記録で効果の測定	1(件)	B	バイタルを入力実施
	医学的管理の目	9(件)	利用者疾病研修	9(件)	A	9名の健康管理表を作成
[F]他	1.防災対策活動	1回	晴ヶ丘拠点防災マニュアル等の研修	1回	A	避難訓練2回実施
	2.地域交流活動	1回	地域の行事に参加する。	0回	C	外出制限にて未着手
	3.地域広報活動	1回	入居のご案内のチラシ作り。	0回	C	GH便り年3回発行するが、
						入居のご案内は未着手

MR 評価基準	[評価：S (スペシャル)]大幅な成果を上げた場合
	[評価：A]計画値達成の場合
	[評価：B]計画値未達成の場合
	[評価：C]計画未着手の場合

課題	計画目標	年度[目標値]	実施計画等	結果	MR 評価	事業報告結果コメント
[A] アメーバ (事業基盤)	総サービス提供高	39,986,253	2020年度MP及び大項目算定根拠資料		A	達成率 100.7% 職員1名減により担当件数が増えたため時間当たりが達成となった
	経費合計	7,787,659	ドライブレコーダー4台			
	差し引き収益	32,198,594				
	総時間	11,336				
	時間当たり	2840.4	前年対比 107%	2861.3		
[B] 顧客満足度 サービス向 上	①お客様要望・苦情	10件		1件	B	デイ利用時の対応について
	②マナー向上	80%	拠点に準じて研修、アンケート実施	未実施	C	業務の都合で参加できず。 所内にて接遇研修を実施。
[C] 教育訓練	①内部教育研修	12件	教育訓練計画書	5件	B	職員の異動により着手困難
	②外部教育研修	10件	教育訓練計画書	3件	B	コロナ感染に配慮し研修の減
	③有資格者	3名	ケアマネ、主任ケアマネ、認知症実践者 研修	0件	C	業務の関係で取得に至らず。

[D] リスク予知 対策活動	①ヒヤリハット件数	40 件	ヒヤリハット／発生事故記録書	55 件	A	
	②リスク対策報告書発行件数	2 件	リスク対策報告書	2 件	A	個人情報取り扱い・報連相の不備
[E] 改善活動	① 全期間の無事故	0 件	0 運動、運転技術の向上	0 件	A	
	②困難事例の勉強会	2 件	地域・ソーシャル部会への事例提供	1 件	B	三沢市地域ケア会議へ事例提供
[F] 関連指標	① 有給休暇取得率	70%		27.4%	B	職員の異動あり、取得困難
	② 月残業平均	25H	業務効率・分担 アミボイス活用	24H	A	

MR 評価基準	<p>[評価：S (スペシャル)]大幅な成果を上げた場合</p> <p>[評価：A]計画値達成の場合</p> <p>[評価：B]計画値未達成の場合</p> <p>[評価：C]計画未着手の場合</p>
---------	--

【事業所名：はるが丘介護支援センター】 [2020年度]事業報告書

計画作成日：2020年2月06日 作成者：小坂 修子

報告作成日：2021年5月7日 作成者：鹿内 佳子

課題	計画目標	2020年度[目標値]	実施計画等	結果	MR評価	事業報告結果コメント
[A] MP (事業基盤)	1.総サービス提供高	10,908,070円	2020年度大項目算定根拠	5.時間当たり 2252.1円	S	人員の変動があり担当利用者数のふり幅が大きかったが、困難な利用者を積極的に受け入れていき、年間を通して目標値を達成することができた。
	2.経費合計	2,851,876円				
	3.差引収益	8,056,194円				
	4.総時間	4,028.0H				
	5.時間当り	2,000.0円				
[B] 顧客満足・ サービス 向上	介護度改善	10名以上 内2名(自立)	課題整理総括表・ケアプラン	5名 自立、内0名	B	計画立てて取り組む必要があった。次の課題とする。
	重度者の受入れ	30%以上	(要介護4,5)	20%	B	重度者受け入れ態勢は整っており後半に向けて増えている
[C] 教育訓練	1.内部教育件数	10件以上	教育訓練計画書	7件	B	計画立てて参加できなかった
	2.外部教育件数	6件以上	外部研修報告書(医療・多職種連携等)	6件	A	ZOOM活用できるようになり参加できる研修が増えてきた

[D] リスク予知対 策活動	ヒヤリハット件数	60 件以上	ヒヤリハット苦情お客様の声	33 件	B	後半は意識することで件数を あげることができた
	リスク対策報告書件数	3 件以内	リスク対策報告書	4 件	A	確認不足、連絡ミスなど修正で きる部分が多かった
	返戻件数	0 件以内		1 件	B	三沢市の未登録が原因
[E] 改善活動	A 改善【改善研究レポー ト】	1 件	課題達成型の改善研究記録書 課題整理総括表の活用	0 件	C	勉強不足で取り組むことが出来 なかった
	B 改善【5S ミニ改善レ ポート】	1 件	ミニ改善報告書	0 件	C	勉強不足で取り組むことが出来 なかった。
[F]他	1.防災対策活動	2 回	避難訓練参加(晴ヶ丘エリア)	0 件	C	コロナ禍で規模縮小や中止に
	2.地域交流活動	2 回	はるが丘デイと合同	0 件	C	コロナ禍で規模縮小や中止に
	有給取得	15 日以上(各)	改善計画書	船水 16 日 鹿内 22.5 日	A	計画外での取得があった
	月残業平均	10 時間以内		8 時間 34 分	A	大幅に増える月もあったが、調 整し年間平均で達成できた。

MR 評価基準	<p>[評価：S (スペシャル)]大幅な成果を上げた場合</p> <p>[評価：A]計画値達成の場合</p> <p>[評価：B]計画値未達成の場合</p> <p>[評価：C]計画未着手の場合</p>
---------	--

課題	計画目標	2020年度 [目標値]	実施計画等	結果	MR 評価	事業報告結果コメント
[A] MP (事業基盤)	1.総サービス提供高	63,937,104円	個別機能訓練加算Ⅱ取得、リハの専門性の強化	63,294,740円	A	リハ職員の一部配置により個別機能訓練に関しては計画通り。
	2.経費合計	15,636,316円		16,524,488円		コロナ助成金のため上昇。
	3.差引収益	48,300,788円		46,770,252円		同上
	4.総時間	21,515.00H		20,724.00H		常勤職員1名の異動、他職員の休職等により減少。
	5.時間当り	2,245.0円		2,256.8円		サービス提供高が一部届かないも、総時間の大きな減少により達成。
[B] 顧客満足・ サービス 向上	デイ独自の要望・希望調査	90%以上	ニーズ調査	未実施	C	コロナによる行事縮小により当年未実施。
	お客様要望・苦情	年 20件	苦情受付 なんでも話せる環境作り	7件	B	
	ADL維持向上	毎月	バーセルインデックス評価を毎月実施しADL改善指標の作成	未実施	C	管理者、担当者の変更により当年未実施。
[C] 教育訓練	1.内部教育件数	6件	教育訓練計画書、随時介護部会、相談部会への参加、外部研修伝達研修の実施	6件	A	コロナによる外部研修機会の減少発生も、内部研修を予定通り実施。
	2.外部教育件数	10件	リハビリへの専門性強化、ナラティブ・アプローチ研修、多職種連携研修等	5件	B	上記理由にて外部研修の機会を作成できず。

[D] リスク予知対策活動	ヒヤリハット記録	80 件	ヒヤリハット・苦情・お客様の記録書	257 件	S	担当制の設置、定期会議の開催により大きく改善。
	リスク予知対策	10 件	リスク予知対策書	4 件	B	改善活動に繋げきれず。
	事故報告書	0 件	介護・看護事故報告書	3 件	B	介護事故 1 件、車両事故 2 件。
[E] 改善活動	医療研修実施	2 名	喀痰吸引等研修	未実施	C	管理者、担当者の変更により当年未実施。
	個別機能訓練計画書	実施対象者	計画、評価の専門性を高める。 (システム導入検討)	達成	A	全利用者を対象にシステムを利用しての計画書の作成、運用済み。
	介護記録	〃	ケース記録、リハ計画、報告書類 (システム電子化導入)	達成	A	同上。
	研究発表	12 月頃まで	テーマ (介護記録とその効果)	未実施	C	未開催の為。
[F]他	1.防災対策活動	2 回	三沢拠点全体での総合訓練、デイ単体での避難訓練実施	1 回	B	
	2.地域交流活動	3 回	三沢拠点夏祭り、敬老会、前平寺子屋等	1 回	B	コロナによる機会の減少。
	3.地域広報活動	2 回	近隣町内会への広報等	未実施	C	同上

MR 評価基準	<p>[評価：S (スペシャル)]大幅な成果を上げた場合</p> <p>[評価：A]計画値達成の場合</p> <p>[評価：B]計画値未達成の場合</p> <p>[評価：C]計画未着手の場合</p>
---------	--

課題	計画目標	年度[目標値]	実施計画等	結果	MR 評価	事業報告結果コメント
[A] MP (事業基盤)	1.総サービス提供高	41,039,321円	R2年度MP大項目算定根拠資	39,641,328円	A	収入では稼働率平均 90.8%により、安定した収入を維持でき、経費ではコロナの補助金を活用し衛生環境の改善ができた。設備修繕費が抑えられ有給取得率も高く時間当たりの達成に繋がった。
	2.経費合計	16,564,707円	料参照	15,125,305円		
	3.差引収益	24,474,614円		24,516,023円		
	4.総時間	12,226.00H		12,177.00H		
	5.時間当り	2,001.8円		2,013.3円		
[B] 顧客満足・ サービス 向上	1.CS結果(サービス満足)	90%以上	サービス内容ヒアリング調査 行事予定・計画書による実施	—	C	ヒアリング調査実施せず。ただし、毎月の行事、季節の節目の行事は楽しんで頂けた。
	2.介護予防プログラムの見直し	12月末まで	口腔ケア・体操・認知症ケア	次年度継続	B	介護予防プログラムは継続できたが見直しはできず。
	3.保険外サービスの見直し	12月末まで	ニーズ調査・実施	食事代	A	運営推進会議にて承認を頂き4月より昼食代490円から520円に変更する。
[C] 教育訓練	1.内部教育件数	10件	教育訓練計画書参照	7件	B	未達成(介護技術・医療知識)
	2.外部教育件数	3件	ユマニチュード・ノーリフトケア等	0件	C	新型コロナ感染拡大防止の影響により外部研修は0件

[D] リスク予知対策活動	1 ヒヤリハット記録	40 件	ヒヤリハット	34 件	B	未達成ではあるが、3 月より報告・周知の機会を設け増加傾向となっている。
	2 苦情・お客様の声記録	3 件	苦情・お客様の声記録書	苦情 1 件	B	接遇についての苦情があり教育訓練を実施する。
	3 リスク予知対策書	2 件	リスク予知対策書	3 件	B	・車両物損事故 2 件 ・転倒事故 1 件
[E] 改善活動	1 省エネ対策	光熱水費使用料 前年比 5 %削減	松園省エネ委員会	前年比 13.6%減	A	ガス空調設備更新時期を控え、各業者より情報収集し省エネ対策に向けた検討を実施中。
	2 介護記録システム活用	介護記録見直し	改善計画書	—	C	未実施
[F]他	1.防災対策活動	年 3 回	総合訓練・炊き出し訓練	3 回	A	内部訓練にて実施
	2.地域交流活動	年 6 回	夏祭り・歌声サロン等	0 回	C	内部行事
	3.地域広報活動	年 2 回	広報誌・HP	0 回	C	未実施

MR 評価基準	<p>[評価：S (スペシャル)]大幅な成果を上げた場合</p> <p>[評価：A]計画値達成の場合</p> <p>[評価：B]計画値未達成の場合</p> <p>[評価：C]計画未着手の場合</p>
---------	--

課題	計画目標	年度[目標値]	実施計画等	結果	MR 評価	事業報告結果コメント
[A] MP (事業基盤)	1.総サービス提供高	42,333,195円	2020年度MP及び	44,353,593円	A	新規増と総時間コントロールで 達成
	2.経費合計	12,729,845円	大項目算定根拠資料	12,710,871円		
	3.差引収益	29,603,350円		31,642,722円		
	4.総時間	13,769H		13,756.19H		
	5.時間当り	2,150円		2,300.3円		
[B] 顧客満足・ サービス 向上	1.お客様要望・苦情	年2回	お客様・家族よりヒアリング	年2回実施	A	4月、11月実施 苦情2件
	2.介護度改善	2名	総合事業から自立へ 片麻痺でもクッキング	未達成	B	お客様へのアプローチは行ったが、意 欲向上見られず未達成
[C] 教育訓練	1.内部教育件数	12件	教育訓練計画表に策定	8件	B	拠点内研修4項目参加出来ず
	2.外部教育件数	3件	外部研修報告書	0件	C	コロナ感染対策にて中止となった

[D] リスク予知対策活動	ヒヤリハットの分析	年2回	ヒヤリハット記録書	年2回実施	A	95件
	リスク対策報告書件数	2件	リスク予知対策書	2件	A	
[E] 改善活動	1.業務改善	2件	課題達成型の改善研究記録書	0件	C	未達成
	2.5S活動	2件	ミニ改善記録報告書	2件	A	
	3.有給休暇取得	10日以上	有給管理台帳	10日以下	B	8名中6名10日取得
[F]他	1.防災対策活動	年2回	防災訓練年間計画	0回	C	コロナ感染対策の為実施できず
	2.地域交流活動	年2回	年間スケジュールに策定	0回	C	コロナ感染対策の為実施できず
	3.地域広報活動	年2回	法人HP記事掲載	0回	C	未着手

MR 評価基準	[評価：S（スペシャル）]大幅な成果を上げた場合
	[評価：A]計画値達成の場合
	[評価：B]計画値未達成の場合
	[評価：C]計画未着手の場合

【事業所名：三沢訪問看護ステーション】【2020年度】事業報告書

計画作成日：2020年2月22日 作成者：中村 由佳子

報告作成日：2021年5月07日 作成者：中村 由佳子

課題	計画目標	2020年度 [目標値]	実施計画等	結果	MR 評価	事業報告結果コメント
[A] MP (事業基盤)	1.総サービス提供高	81,486,373円	前年度より106.8%の収入を目指す。内部収入117%増。外部収入(医療保険含)102%の増。	81,069,304円	S	内部収入78%増 外部収入(医療保険含)111%増
	2.経費合計	14,772,096円	訪問看護ICT化導入。	14,114,844円		82.6%維持
	3.差引収益	66,714,277円	差引収益比率82%。 差引収益107.7%増。	66,954,460円		看護部門4人、リハビリ部門5人 事務パート1人の常勤換算9.3 12月准看護師1名退職し、後半は時間外労働時間が増えた。
	4.総時間	25659.0H	看護部門6人、リハビリ部門7人の常勤換算とする。リハビリ部門の時間移動契約は415時間。時間外労働時間は240時間。	22,603H		
	5.時間当り	2,600円		2962.2円		
[B] 顧客満足・サービス向上	お客様要望・苦情	20件	GOOD 12件以上	23件	A	GOOD8件
[C] 教育訓練	1.内部教育件数	月平均1回	外部研修報告、学習会、カンファレンスなど月1回実施していく。	年10回	A	月1回程度研修で研修計画で実施できた。
	2.外部教育件数	年間12件	平均月1名の外部研修を計画。	年間11件	B	1人1つのWEB研修に参加できた。
	3.有資格要件者人数	1名	精神科訪問看護算定要件	1名	A	予定通り作業療法士1名研修終了

[D] リスク予知対 策活動	1.ヒヤリ・ハット件数	50 件	業務が忙しくなると報告書提出 が雑になる為、日々業務の終わ りには1日の反省をする時間が 持てるよう習慣化していく。	53 件	A	ヒヤリ・ハットも事故を起こす 前に気付くものが多かった。振 り返りや正直な報告が次につ ながっていると評価する。
	2.リスク対策報告書発行 件数	3 件		2 件	B	
[E] 改善活動	1.QOL プラン改善 在宅看取り件数	12 件	他部門と協働しマネジメントで できるようにする。	11 件	B	
	2.職場環境改善 1 時間外業務時間	240 時間	看護部門月 180 時間 リハビリ部門 60 時間	231 時間	A	看護部門 178 時間 リハビリ部門 53 時間
	3.職場環境改善 2 年間有休取得 3 日以上	7 日以上/年		1 人 8 日以上/年	S	
[F]他						

MR 評価基準	<p>[評価：S（スペシャル）]大幅な成果を上げた場合</p> <p>[評価：A]計画値達成の場合</p> <p>[評価：B]計画値未達成の場合</p> <p>[評価：C]計画未着手の場合</p>
---------	--

【事業所名：ホームヘルパーステーション青空】 【令和2年度】事業報告書

計画作成日：2020年2月11日 作成者：袴田 晃多

報告作成日：2021年05月05日 作成者：月舘 健司

課題	計画目標	令和2年度 [目標値]	実施計画等	結果	MR 評価	事業報告結果コメント
[A] MP (事業基盤)	1.総サービス提供高	40,834,376円	・介護、障害、区分を問わず総合的な顧客の増数。 ・訪問介護事業所の少ない六戸地区のニーズ発掘。	37,445,159円	B	登録者数 R2.04.01 91名 →R3.03.31 86名 5名減 永眠・施設入居等あり減少。 総訪問件数9,649件→週3回以上利用されていたお客様の入院・施設入居により減少。 六戸町居宅からの新規2件獲得購入サイクル確認したことで経費は削減できたが、総サービス提供高減少により減。記録ソフトの使用方法の確認が必要であった。 登録ヘルパー2名退職により時間減。稼働率50.68% ※移動時間加算 60.99% 総サービス提供高が予定より減少した結果。
	2.経費合計	9,951,795円		9,831,835円		
	3.差引収益	30,882,581円		27,613,324円		
	4.総時間	17,955.0H	・記録ソフト活用によるデスクワークの削減 ・登録ヘルパー2名の獲得	17,326.0H		
	5.時間当り	1,720円	訪問稼働率の向上 目標56%	1,593.8円		
[B] 顧客満足・ サービス 向上	苦情受付と改善活動	10件	担当設置によって 推進を図る。	苦情 1件	B	ヒヤリ気づき記録の活用ができていなかった。

[C] 教育訓練	1.内部教育件数	1 2 件	担当者設置にてサービス 状況より随時計画実施。	3 件	B	職員減により計画的に実施でき ず。
	2.外部教育件数	6 件	介護技術 4 件 マネジメント 2 件	0 件	C	新型コロナの影響で中止。
[D] リスク予知対 策活動	ドライブレコーダーの 設置	全車 6 台		全車 6 台	A	R2.9 月までに全車設置済み
	ヒヤリ気づきの推進	月当たり 1 0 件	担当設置	R2.4.1～ R3.3.31 件数 24 件 リスク予知対策 書発行 2 件	B	月当たり 2 件 ヒヤリ気づき記録の活用ができ ていなかった。
[E] 改善活動	介護技術の向上 ユマニチュード技術	上記研修参加他 マニュアル作成		未着手	C	外部研修の参加未実施のため未 着手

MR 評価基準	<p>[評価：S (スペシャル)]大幅な成果を上げた場合</p> <p>[評価：A]計画値達成の場合</p> <p>[評価：B]計画値未達成の場合</p> <p>[評価：C]計画未着手の場合</p>
---------	--

【事業所名：訪問入浴サービスステーション青空】 【令和2年度】事業報告書

計画作成日：2020年2月11日 作成者：袴田 晃多

報告作成日：2021年05月05日 作成者：月舘 健司

課題	計画目標	年度[目標値]	実施計画等	結果	MR 評価	事業報告結果コメント
[A] MP (事業基盤)	1.総サービス提供高	13,332,665 円	・六戸ニーズの獲得	13,131,213 円	B	総サービス提供高 +1,575,508 円(前年比 113.6%) 差引収益 +882,098 円(前年比 111.9%) 総時間 +760 時間(前年比 114.3%) 六戸町のお客様 R1 年度 3 名→R2 年度 8 名 総サービス提供高、差引収益は 前年度を上回ったものの、老朽 化した備品の購入と稼働日が 1 日増えたことでの総時間の増加 により結果未達となる。
	2.経費合計	4,291,834 円		4,883,922 円		
	3.差引収益	9,040,831 円		8,247,291 円		
	4.総時間	5,948H		6,061.0H		
	5.時間当り	1.520 円		1,360.7 円		
[B] 顧客満足・ サービス 向上	訪問入浴技術交換会の 開催	1 回	近隣の訪問入浴事業所へ 打診し、技術交換会を開催する。	利用数増により 実施できず。	C	日程を合わせる事が困難であ ったため未実施。 ※次年度より三沢市とその近隣 市町村の訪問入浴事業所は当法 人のみ
[C] 教育訓練	1.内部教育件数	1 2 件	担当者設置にて随時開催	3 件	B	
	2.外部教育件数	4 件		0 件	C	新型コロナウイルスの影響によ り中止となったため参加できず。

[D] リスク予知対 策活動	【B】技術交換会を 通しての入浴設備 管理の見直し	1回	管理規定更新	技術交換会未実 施	C	技術交換会は実施しなかつた が、入浴設備については老朽化 しているものは随時購入し、作 業環境の改善に努めた。
[E] 改善活動	入浴効果の調査	研究発表 又は報告発表	上記外部研修、技術交換会を基 に検証。	技術交換会未実 施	C	外部研修・技術交換会未実施の ため未着手。

MR 評価基準	[評価：S（スペシャル）]大幅な成果を上げた場合 [評価：A]計画値達成の場合 [評価：B]計画値未達成の場合 [評価：C]計画未着手の場合
---------	---

課題	計画目標	年度[目標値]	実施計画等	結果	MR 評価	事業報告結果コメント
[A] MP (事業基盤)	1.総サービス提供高	45,546,446円	3月で退所される方が7名いる	42,655,487円	B	利用児童数と利用回数の減少の 為、収入減につながったと思わ れる。有休取得の推奨したため、 総時間減につながった。 結果261円減となっている。
	2.経費合計	11,754,870円	が新規獲得していく。	11,241,698円		
	3.差引収益	33,937,279円		31,413,789円		
	4.総時間	14,080.0H		13,233 H		
	5.時間当り	2,400.0円		2,373.9円		
[B] 顧客満足・ サービス 向上	① 児童の満足度	95%	顧客満足度調査による。	90%	B	昨年調査値 ①98.4%②90.9%③85.7% 三児童共に児童の満足が減少し ている。ご理解頂いてはいるがコ ロナ過の活動自粛が大きな要因 と思われる。
	② 療育についてのサービス 対応	95%	事業所独自で行っている自己評 価アンケート公表。	100%	S	
	③ 職員の対応	95%		93%	B	
[C] 教育訓練	1.内部教育件数	8件	教育訓練計画書	8件	A	予定通り実施。
	2.外部教育件数	7件	教育訓練計画書	9件	A	オンラインの受講4件。

[D] リスク予知対 策活動	① ヒヤリハット件数	70 件	ヒヤリ気づきノート	47 件	B	記載漏れが多く見られた。
	② リスク対策報告書発 行件数	2 件	リスク対策報告書	4 件	A	目標達成。4 件ともに対策後の再 発なし。
[E] 改善活動	① 感染予防インフルエ ンザ罹患件数	0 件	感染症対策の勉強会の実施	0 件	A	コロナ対策を行っていたためか インフルエンザの感染者なし。
	② A 改善 [改善研究レポ ート]	1 件	改善計画書	1 件	A	就学前児童が就学に向けて自分 でできる事を増やす取り組みを 行っている。
	③ B 改善 [5S ミニ改善]	5 件	改善計画書	7 件	A	児童のための環境調整のミニ改 善 4 件、業務改善 3 件行ってい る。
	④ 予防処置発行件数	1 件	予防処置報告書	0 件	C	未着手となっている。
[F]他	1.防災対策活動	12 回	避難訓練実施	12 回	A	毎月実施。 (地震・火事・不審者想定のロー テーション)
	2.有給休暇取得	平均 7 日取得	勤務調整	平均 8 日取得	A	年間平均 8.3 日取得。
	3.月残業時間平均	0 時間	業務分担と業務効率化	0.6 時間	B	冬道の送迎や児童のお迎え待ち で残業時間発生している。

MR 評価基準	<p>[評価：S (スペシャル)]大幅な成果を上げた場合</p> <p>[評価：A]計画値達成の場合</p> <p>[評価：B]計画値未達成の場合</p> <p>[評価：C]計画未着手の場合</p>
---------	--

【事業所名：緑ヶ丘児童デイサービスセンターひかり】 **[2020年度]事業報告書**

計画作成日：2020年2月12日 作成者：外山 ルミ

報告作成日：2021年5月12日 作成者：山本由佳

課題	計画目標	年度[目標値]	実施計画等	結果	MR 評価	事業報告結果コメント
[A] MP (事業基盤)	1.総サービス提供高	43,008,489円	4月に転居・卒業等で退所され	41,421,890円	S	新規児童発達5名、放課後等1名。 児童発達の利用日数の減少（コロナ感染症による自宅待機・長期入院により、減額した。職員減により時間当たりが上がっている。
	2.経費合計	11,146,114円	る児童が4名。新規1名。	4,994,478円		
	3.差引収益	31,862,375円	単価の高い児童発達の減少に	30,018,786円		
	4.総時間	13,276.0H	より、昨年度より低い時間あたり	11,806.41H		
	5.時間当り	2,400.0円	りとなっている。	2,542.6円		
[B] 顧客満足・ サービス 向上	① 児童の満足度	95%	顧客満足度調査による。	92.8%	B	昨年調査値 ①97.9%②93.6%③85.9% 三児童共に児童の満足が減少している。ご理解頂いてはいるがコロナ過の活動自粛が大きな要因と思われる。
	② 療育についてのサービス 対応	95%	事業所独自で行っている自己評価アンケート公表。	96.4%	A	
	③ 職員の対応	95%		96.4%	A	
[C] 教育訓練	1.内部教育件数	40件	教育訓練計画書	51件	S	教育訓練計画書に沿って行う。
	2.外部教育件数	7件	教育訓練計画書	7件	A	zoom研修参加

[D] リスク予知対 策活動	① ヒヤリハット件数	60 件	ヒヤリ気づきノート	85 件	S	毎月職員会議で確認。要望 5 件、GOOD は 12 件あった。
	② リスク対策報告書発行件数	2 件	リスク対策報告書	6 件	S	蜂の駆除 2 件。職員連絡申し送りボード等改善を行った。
[E] 改善活動	① 感染予防インフルエンザ罹患件数	0 件	感染症対策の勉強会の実施	0 件	A	手洗い・うがい・消毒・マスク着用・換気等感染予防対策を行い、感染症罹患者はいなかった。
	② A 改善 [改善研究レポート]	1 件	改善計画書	1 件	A	アセスメントを効果的に活用した支援方法の改善。(レーダーチャートを用いての課題分析、PECS や作業活動等を新たに組み込んだ)
	③ B 改善 [5S ミニ改善]	5 件	改善計画書	29 件	S	掲示物・収納スペースの改善、絵本や壁紙の修繕等に取り組んだ。
	④ 予防処置発行件数	1 件	予防処置報告書	0 件	C	できなかった
[F]他	1.防災対策活動	12 回	避難訓練実施	12 回	A	毎月避難訓練計画書に基づき実施。
	2.有給休暇取得	平均 6.5 日取得	勤務調整	平均 8 日取得	S	職員の調整で全員取得達成。
	3.月残業時間平均	0 時間	業務分担と業務の効率化	0 時間	A	効率化を検討実行し達成。

MR 評価基準	<p>[評価：S (スペシャル)]大幅な成果を上げた場合</p> <p>[評価：A]計画値達成の場合</p> <p>[評価：B]計画値未達成の場合</p> <p>[評価：C]計画未着手の場合</p>
---------	--

【事業所名：堀口児童デイサービスセンターひかり】 **[2020年度]事業報告書**

計画作成日：2020年2月14日 作成者：木村陽子

報告作成日：2021年5月14日 作成者：外山 ルミ

課題	計画目標	年度[目標値]	実施計画等	結果	MR 評価	事業報告結果コメント
[A] MP (事業基盤)	1.総サービス提供高	34,950,818円	児童指導員等加配加算	28,744,478円	B	新規は放課後等5名、児童発達支援3名。
	2.経費合計	11,044,076円	2020年度MP及び大項目算定根拠資料	8,332,364円		保育士配置により8月より加配加
	3.差引収益	23,906,742円	営業活動の強化	17,436,886円		算139単位取得したが利用人数が
	4.総時間	12,866H	専門職の募集(配置)と体制継続	11,848.06H		伸び悩み提供高が減になり目標の
	5.時間当り	1,858.1円	新規獲得し目標時間あたりを目指す	1,471.7円		時間あたりに到達できなかった。
[B] 顧客満足・ サービス 向上	① 児童の満足度	90%	顧客満足度調査による。	84%	B	昨年調査値 ①95.0%②87.1%③90.3% 三児童共に児童の満足が減少している。ご理解頂いてはいるがコロナ過の活動自粛が大きな要因と思われる。
	② 療育についてのサービス 対応	90%	事業所独自で行っている自己評価アンケート公表。	84%	B	
	③ 職員の対応	90%		100	A	
[C] 教育訓練	1.内部教育件数	10件	教育訓練計画書	10件	A	教育訓練計画書に沿って実施
	2.外部教育件数	7件	教育訓練計画書	1件	B	zoom研修参加

[D] リスク予知対 策活動	① ヒヤリハット件数	80 件	ヒヤリ気づきノート	55 件	B	持たせ忘れ・配車表見落としが多 くみられていた。
	② リスク対策報告書発 行件数	3 件	リスク対策報告書	2 件	B	リスク対策後再発なし
[E] 改善活動	①業務改善	2 件	課題達成型の改善記録書	1 件	B	療育環境の見直しに取り組んだ
	②B改善 [5S ミニ改善]	2 件	ミニ改善記録報告書	5 件	S	環境の見直し・整理整頓等。
[F]他	1.防災対策活動	12 回	避難訓練実施	12 回	A	火災・地震・不審者行う。10 月 は消防に通報訓練実施した。
	2.有給休暇取得	平均 10 日	有給管理台帳	平均 12 日	S	一人平均年間 12 日取得。
	3.月残業時間平均	0 時間	業務分担と業務の効率化	4.9 時間	B	管理業務による残業が多かった

MR 評価基準	<p>[評価：S (スペシャル)]大幅な成果を上げた場合</p> <p>[評価：A]計画値達成の場合</p> <p>[評価：B]計画値未達成の場合</p> <p>[評価：C]計画未着手の場合</p>
---------	--

課題	計画目標	年度[目標値]	実施計画等	結果	MR 評価	事業報告結果コメント
[A] MP (事業基盤)	多機能型 時間当たり R1 MP1,029.1円	拠点 1,269.8円		拠点 1,306円	A	<p>【A型】怪我や不調での利用者の欠勤、職員欠員を時間移動で対応した事で総時間減。飲食店収入は増(8,558,726円、年間4,557名)、時間当たり達成。</p> <p>【B型】平均利用18.7名、新規利用1名だが利用安定せず、体調不良や家事都合によるキャンセル等あり利用減。加算の追加算定、異動により職員1名追加は実施。</p> <p>【移行】平均利用5.2名、就職や体調不良による利用減あったが、利用の継続、新規利用2名あり時間当たりは達成。営業先は養護学校、医療機関等に絞りリストアップ、他関係機関は受付センターに協力依頼を継続し今後も実施。</p> <p>【生活】平均利用10.4名。入院、入所により収入減となったが、新規利用や平均区分上昇、GHへの時間移動行い、時間当たり達成。多機能全体の時間当たりは達成。</p>
	A型 総サービス提供高	16,399,577	新規利用者 1名	18,527,448		
	経費合計	22,068,848	□G経営改善計画書(飲食店収	22,517,331		
	差引収益	▲5,669,271	入)年間客数6,450名 7,095,000	▲3,989,883		
	総時間	16,352.00	円の売り上げ	12,783		
	時間当たり	▲346.7		▲312.1		
	B型 総サービス提供高	64,589,140	施設外就労加算の追加算定	52,395,970		
	経費合計	24,095,699	緑化公社(利用者3名×5日×52	22,541,494		
	差引収益	40,493,441	週)分 780,000円増)	29,854,476		
	総時間	18,539.00	新規利用者 1名	17,603		
	時間当たり	2,184.2	職員採用 1名	1,696.0		
	移行 総サービス提供高	14,674,191	新規利用者 1名	13,533,789		
経費合計	5,777,143		6,409,673			
差引収益	8,897,048		7,124,116			
総時間	6,729.00		4,948.00			
時間当たり	1,322.2		1,439.8			
生活 総サービス提供高	20,979,415		22,428,740			
経費合計	8,995,280		9,613,177			
差引収益	11,984,135		12,815,563			
総時間	9,521.00		7,292			
時間当たり	1,258.7		1,757.5			

[B] 顧客満足度・サービス向上	A型 ※アビリンピック	HP、FB更新 インスタグラムの検討、実施	レストラン営業（メニュー変更4～6回） 外部物販（パラリンピック企画） □G経営改善計画書 ハサップ（衛生管理）	メニュー変更 毎月 外販はコロナの為中止 Instagram開設 ハサップ 対応	B	メニューは毎月検討、部分的に追加や変更ありほぼ毎月更新している状態。Instagramでの情報発信等次年度も継続していく。A型スタッフと一緒にハサップ導入開始について。来店客減の対策として4～6月お弁当販売実施。	
	B型 ※平均工賃アップ	平均工賃 50,000円 (2020年度 30,000円) (菓子製造に 4,000,000円 規模に)	□G工賃向上計画書（活動収入計 14,582,684円、うち菓子製造部門 3,578,684円）	平均工賃 25,892円 2020年度活動収入 14,407,731円 うち菓子製造部門 1,903,410円	B	コロナのためイベント等は中止、委託販売先でも販売低迷等の影響もあり当初見込みより売上減少しているが、新商品の開発やA型と共同で売上増のための販売方法の検討、実施を行っている。	
	重度・高齢化、若年性認知症対応B型 ※生きがいとしての就労	平均工賃 3,000 ～5,000円				B	重度・高齢化等に対する働き方の検討、実習先の変更調整実施。文書電子化は一部実施している。
	就労移行・定着	就職者 3名 定着支援 1～2名 就労サポート作成 5名	就職者 3割以上の単位を維持	就職者 2名 定着支援 1名 作成 3名	B	コロナ禍による実習延期等もあり、年度内就職者は2名。コロナの影響による措置として、次年度報酬は前年度実績により算定	
	顧客満足度調査	年度内実施 年2回	全事業所 c a f e顧客アンケート	未実施 9月実施	B	8月来店者にアンケート実施、回答者341名。	
	三沢市共生社会を推進するための条例（共生のこころ育む条例）		第2節 情報所得、意思決定及び意思疎通（郵送文書のルビ、平易な表現、筆談、コミュニケーションボード、代筆等の支援）		A	防災の教育訓練にてコミュニケーションボード作成。	

[C] 教育訓練 K-05	ソーシャルワークの思考法を学ぶ		OJT評価表の見直し 人材育成（目標管理シート活用）		B	キャリアラダーに合わせて OJT 評価表検討中
	内部研修	10 回	☆教育訓練計画表 ※必要に応じて伝達研修あり	拠点にて 年 10 回実施	A	拠点での教育訓練計画表に沿って実施。
	外部研修		青森県自閉症支援研究会（年 4～5 回） 11 月 全A ネット（宮城県） 12 月 就労支援フォーラム（東京都） 11 月国際福祉機器展又は EXPO		B	コロナによる研修延期・中止等もあり
	サービス管理責任者と準サービス管理責任者による個別支援計画作成	更新研修 4 名 基礎研修 3 名	サビ管：小笠原麻、江澤 準サビ管：加治屋、館 ※新カリキュラム受講候補者 須藤、鳴海（有資格+3 年） 小笠原純（主事+5 年） 小笠原国（無資格 8 年）	更新研修 2 名 基礎研修参加なし	B	新カリキュラム完全移行までにかかる期間 4 年を想定（中期的計画）（2024 年） 基礎研修は申込するも、抽選にもれ参加できず。次年度検討。
[D] リスク予知対策活動	コンプライアンス	年 1 回	自主点検の実施（2 月） 栄養成分表示（食品表示法） HACCP 制度（食品衛生法）	自主点検表の実施 実施 実施	A	栄養成分の計算は老人ホームの栄養士に依頼し時間移動で対応。
	ガバナンス	年 1 回	障害部門内 ISO 内部監査（11 月） 又は、サーベイランスを受ける	12 月 10 日 内部監査実施	A	適合 3 件、観察事項 2 件
	ヒヤリハット	200 件	2018/8～2019/3（A：37 件、B・移行 34 件、生活 21 件）	2020/4～2021/3 A 型:160 件、B・移行:48 件、生活:28 件	A	苦情 2 件、ミニ改善 1 件
	リスク予知、事故報告	5 件	2 件	1 件/3 件		
[E] 改善活動	5S 活動の実施	定期点検記録作成、実施	2019 年度実施の ANA カイゼン	KAIZEN 実施、記録作成中	B	A 型内の KAIZEN 実施、点検記録表について作成中。

	拠点発信のCSR活動	お仕事説明会 2回 ゆうとぴあ配布 (配布100部)	取り巻く顧客や従業員等、ステークホルダーへの期待やニーズに応える。 法人、事業所の情報発信(職員1部ずつ+家族+取引企業等)	未実施 職員、家族等に配布	B	
[F] 関連指標	働き方改革(有給休暇取得、離職防止)	有給休暇 取得日数の 70% 離職者0名	小規模版ストレスチェック実施(12~1月)	実施 離職者3名	B	安全衛生委員会にてストレスチェック実施。
	防災関連	必要量 拠点で2名	期限切れ食料品の備蓄 防災士の受講、取得支援	備蓄食材の購入 拠点で2名取得	A	食料品の備蓄は法人での購入に合わせて実施。期限間近のものは炊き出し訓練を行い消費する。 防災士
	人材育成	2名	国家資格その他(社会福祉主事、ジョブコーチ)取得に向けた応援(試験、スクーリング等の休暇)	2名	A	介護福祉士資格2名取得
	妊産婦、育児環境の良い職場づくり	採用1名	男性・女性職員問わず、育児休暇、産前・産後休暇を取得しやすい環境づくり。	2名取得	A	育児休暇2名(男性1名、女性1名)、産前・産後休暇1名取得

MR 評価基準	<p>[評価：S(スペシャル)] 大幅な成果を上げた場合</p> <p>[評価：A] 計画値達成の場合</p> <p>[評価：B] 計画値未達成の場合</p> <p>[評価：C] 計画未着手の場合</p>
---------	--

課題	計画目標	年度[目標値]	実施計画等	結果	MR 評価	事業報告結果コメント
[A] MP (事業基盤) 相談支援 (地域共生 社会対応)	総サービス提供高 経費合計 差引収益 総時間 時間当り	43,015,623 11,875,235 31,140,388 15,562.00 2,001.1	特定事業所加算Ⅲ→Ⅰ算定 ※専従常勤職員4名配置 ※基幹相談支援センター試案 行動障害支援体制加算 ※重度障害者意思決定支援 要医療児者支援体制加算	時間当り 2,102.6	B	特定事業所加算Ⅰ算定 5月から4名体制 基幹相談センター予算案作成 立ち上げに向けて人員整備中
	職員配置(相談) 管理者 岡部(兼務) 主任相談支援 中岫 相談支援専門員 北村 小泉、若崎	事業内外の 課題リスト	※レスパイトケア(三老建て替え計 画への提案、訪看連携) 精神障害者支援体制 ※地域移行、地域定着支援 ※精神障害にも対応した地域包 括ケアシステム			職員配置(相談) 管理者 吉田(兼務) 主任相談員 中岫、2月から岡 部、相談支援専門員 岡部(兼 務)北村、小泉、若崎 12月か ら吉田(兼務)、1月から十文字 相談員入職、2月岡部相談員 主任相談支援専門員研修終了
	市町村委託事業 ① 地域活動支援センターⅠ 型(三沢市、おいらせ町) 職員配置(地活) 管理者 岡部(兼務) 相談員 芳野・大塚(専任) ② 三沢障害福祉計画第5	三沢市 10名 おいらせ町 10名	(1) 基礎的事業(2名以上の職員 配置、うち1名専任者) (2) 地域活動支援センター機能強 化事業(Ⅰ型:(1)による職員の 他1名以上配置、うち2名以上を常 勤)※兼務可 (1) 地域生活支援拠点整備等の促 進事業		B	職員配置(地活) 管理者 吉田 相談員 芳野、大塚(専従) 精神保健福祉士 岡部、1月から 十文字相談員へ変更 (1) 5月から人事異動で吉田 緊急時スティ 3件

	期)及び障害児福祉計画(第1期) ※常勤1名採用 三沢市:中岫 他 おいらせ町:岡部 東北町:中岫 三沢市: 三沢市:岡部	採用1名	<ul style="list-style-type: none"> ・相談 ・緊急時の受け入れ対応(三沢市緊急時ステイ事業) ・体験の機会・場(三沢市障がい者地域生活コーディネート事業)24H対応 ・専門的人材の確保・養成 ・地域の体制づくり (2) 障害者支援協議会 ・相談部会参加 ・地域生活支援拠点整備の確認、調整、専門的人材の確保・養成の計画(各加算算定根拠となる研修会のフォローアップ研修) ・コミュニティワークの実践 ・多職種連携 (3) 第6期障害福祉計画 (4) 精神障害者家族会 			コーディネート事業 32件登録 (2) 相談部会 中岫、吉田、輪番で相談員参加 おいらせ支援協議会 岡部 12月17日開催 (3) 第6期福祉計画策定委員会 中岫参加 完成 (4) コロナにて実施できず。
	認定調査	50件	(三沢市、六戸町、おいらせ町)	174件実施	A	三沢、六戸、おいらせ合計
	障害者虐待防止センター	3件		三沢市 3件 六戸 1件 おいらせ町1件	A	虐待ケースとして市町村へ報告、見相、警察介入は4件
	手話講習会	5~11月			A	7月~2月までの開催。
[B] 顧客満足度・サービス向上	多問題ケース対応	防災対策検討 1~2回	主担、副担2名体制ケース対応 相談ケースの地区割り分担	2回実施	A	北村(主)、江澤(副)を選任し防災委員にて活動中、教育訓練の一環で研修実施。
	顧客満足度調査	年度内に実施			C	実施に至らず。

[C] 教育訓練	ソーシャルワークの思考法を学ぶ		・OJT評価表の見直し ・人材育成(目標管理シートの活用)		B	ラダーに合わせてOJT評価表検討中
	内部研修	年間10回	☆教育訓練計画表 ※必要に応じて伝達研修あり	法的研修含む 11回実施	A	拠点全体にて教育訓練実施。
	外部研修	4~5回	8月チカラフォーラム(東京都) 9月リハビリフォーラム(東京都) 医療的ケア児、地域移行 主任ケアマネ(岩手県)		B	チカラ、リハビリ・コロナにて参加できず。医療児ケア児 小泉 地域移行 開催なし 2月開催 研修参加 岡部
[D] リスク予知対策活動	コンプライアンス	年1回	自主点検(2月)	2月実施	A	2月実施
	ガバナンス	年1回	年1回 障害部門内ISO内部監査 (11月)又は、サーベイランス	11月内部監査	A	サーベイランス対象外
	ヒヤリハット	50件	2018/8~2019/3 22件	20件	B	
	リスク予知、事故報告	3件	0件	一般事故2件	B	
[E] 改善活動	地域活動支援センター様式の標準化		ISO文書登録(年間計画等)		A	ISO文書作成し完成済み
[F] 関連指標	働き方改革(有給休暇取得、離職防止)	有給休暇 取得日数の70% 離職者0名	小規模版ストレスチェック実施(12~1月) ☆リスク予知対策活動一覧表(20-2)	全職員実施済み 離職者0名	A	安全衛生委員会にてストレスチェック実施済み
	人材育成	1名	資格取得(スクーリング等の休暇)	0名	C	コロナの影響からスクーリング開催なし

MR 評価基準	<p>[評価：S(スペシャル)] 大幅な成果を上げた場合</p> <p>[評価：A] 計画値達成の場合</p> <p>[評価：B] 計画値未達成の場合</p> <p>[評価：C] 計画未着手の場合</p>
---------	--

課題	計画目標	年度[目標値]	実施計画等	結果	MR 評価	事業報告結果コメント
[A] MP (事業基盤)	総サービス提供高 経費合計 差引収益 総時間 時間当り	10,600,936 8,874,404 1,726,532 3,012.00 573.2		607.3	A	時間当たり 34.1 円増となっている。
[B] 顧客満足度・サービス向上	既存サービスの充実	時間増	土日・祝日の対応を強化	土日・祝日、世話人業務実施済み	A	12月より土日、祝世話人対応中 12月から1名世話人採用
	待機者の把握	書式にまとめる			A	入居待機者リスト作成済み
	顧客満足度調査	年度内実施			C	今年度実施せず。
[C] 教育訓練	内部研修	年間10回	☆教育訓練計画表		A	拠点にて11回の教育訓練実施
	外部研修	年1~2回	世話人対象又は運営等に関する		C	コロナの影響にて開催なし
[D] リスク予知対策活動	コンプライアンス	年1回	自主点検の実施(2月)	3月に実施	B	法的基準、加算の確認実施。
	ガバナンス	年1回	障害部門内ISO内部監査(11月)又は、サーベイランス	11月に内部監査あり	A	11月内部監査実施 サーベイランス対象外であった。
	ヒヤリハット	12件	2018/8~2019/3 1件		C	ヒヤリハットの提出方法の見直しが必要である。次年度の課題。
	リスク予知、事故報告	2件	0件			
[E] 改善活動	拠点発信のCSR活動	ゆうとぴあ配布 100部	取り巻く顧客や従業員等、ステークホルダーからの期待やニーズに応える。	職員への配布は継続実施中	A	拠点にて実施済み
[F] 関連指標	働き方改革(有給休暇取得、離職防止)	有給休暇 取得日数の70% 離職者0名	小規模版ストレスチェック実施検討(12~1月) ☆リスク予知対策活動一覧表(20-2)		A	ストレスチェック安全衛生委員会の内容にて実施済み、有給取得年間5日はクリアできている。

MR評価基準 [評価：S(スペシャル)] 大幅な成果を上げた場合 [評価：A] 計画値達成の場合 [評価：B] 計画値未達成の場合 [評価：C] 計画未着手の場合

【事業所名：世田谷希望丘ホーム】 [R2年度]事業報告書

計画作成日：2020年2月14日 作成者： 渡辺 博明

報告作成日：2021年5月12日 作成者： 丸山 善晴

課題	計画目標	年度[目標値]	実施計画等	結果	MR 評価	事業報告結果コメント
[A] MP (事業基盤)	1.総サービス提供高	644,725,740円	大項目策定根拠	477,225,954円	B	コロナ過での入居減と予定の配置が出来ず未到達となった。
	2.経費合計	295,493,583円		282,543,097円		
	3.差引収益	349,232,157円		194,682,857円		
	4.総時間	198,264.8H		164,613.2H		
	5.時間当り	1761.4円		1,176.1円		
[B] 顧客満足・ サービス 向上	1. アンケートの実施	年1回	9月請求書同封にて実施	実施	A	嗜好調査アンケート及び第三者評価実施
	2. 認知症カフェ	月1回	7月より毎月実施	未実施	C	コロナ禍により実施できず
	3.お客様、地域の方への 介護教室	年1回	11月実施	未実施	C	コロナ禍により実施できず
[C] 教育訓練	1.内部教育件数	年12件	教育訓練計画書	13件	A	予定通り
	2.外部教育件数	年22件	研修報告書	22件	A	予定通り
	3.外国人教育	年6回	ベトナム人8名とのMTG(生活面、仕事面、日本語教育などを話し合う)	定期面談6回＋ 随時面談の実施	A	予定通り
	4.ユニットケア介護の質 向上研修	年6回	研修計画書(ユニットリーダー研修、ユニットケア研修、その伝達研修)	1回	B	コロナ禍により予定通り実施できず
	5.楽晴会ケアの信条研修	年2回	研修計画書	2回	A	R1研修・R2研修の実施
	6.喀痰吸引	3名	介護職員喀痰吸引研修参加	未実施	C	コロナ感染対策の為、未実施

[D] リスク予知対策活動	1.ヒヤリハット報告書 開始	年 60 件	今年度より楽晴会フォーマットを用い実施	年 30 件	B	定着にバラツがあるが委員で推進中
[E] 改善活動	職員採用強化（直接雇用職員の充実）	年 22 名採用	ネット媒体、会社説明会、介護イベント、学校回り、ポスティング等	18名/年 採用	B	ハローワークの他、ネット求人として3社利用し、直接雇用の機会を確保している。
	離職率低下策		職員3ヶ月に一度面談、入職時1日目丁寧なオリエンテーション	14名退職	B	採用と同程度の離職があり、離職率は依然高い状態である。スタッフの入替りも派遣が多い。
	看護師のユニット配置		介護員不足のため看護師をユニットシフトに入れる	未実施	C	介護員不足を補う配置状態には無い
[F]他	防災計画の充実		成城消防署、世田谷区、町内会、民生委員との協調による防災プログラム作成	防災訓練年2回実施	B	地域との協調は未実施
	残業時間削減	月 345H以下	タイムキーパーにて管理（前年直近2ヶ月平均 752.9H）	年間 7,469H 月平均 622.4H	B	派遣OJTで残業が発生しやすい。時間がかかるが改善が必要
	小中高対象 地域福祉	年 7 回	昨年度行った小中高高校生に対する施設見学、職場体験充実化	未実施	C	コロナ禍により実施できず
	障害事業調査		調査開始（渡辺）	未実施	C	コロナ禍により実施できず
	低所得者対策		調査開始（相談員）		B	コロナ過で弁当配布のみ
	隣接施設との交流	年 12 回	青少年交流センター、保育園との交流イベント	未実施	C	コロナ禍により実施できず

MR 評価基準	[評価：S（スペシャル）]大幅な成果を上げた場合
	[評価：A]計画値達成の場合
	[評価：B]計画値未達成の場合
	[評価：C]計画未着手の場合

【事業所名：世田谷希望丘コラボケアセンター】 [R2年度]事業報告書

計画作成日：2020年2月14日 作成者： 渡辺 和也

報告作成日：2021年5月12日 作成者： 神 智仁

課題	計画目標	年度[目標値]	実施計画等	結果	MR 評価	事業報告結果コメント
[A] MP (事業基盤)	1.総サービス提供高	81,151,795 円	大項目策定根拠	39,085,208 円	B	コロナの影響で訪問営業ができず。工夫した営業に携われる人材が1～2名のみで収益が上がらなかった。
	2.経費合計	19,504,257 円		20,252,631 円		
	3.差引収益	61,647,538 円		18,832,577 円		
	4.総時間	22,832.0H		18,934H		
	5.時間当り	2,700.0 円		994.7 円		
[B] 顧客満足・サービス向上	1.個別アクティビティの充実	月 1 回	小規模多機能型居宅介護計画書	0 回	C	コロナ過のため未実施
	2.個別外出支援	月 1 回	小規模多機能型居宅介護計画書	0 回	C	コロナ過のため未実施
[C] 教育訓練	1.内部教育件数	12 件	認知症、接遇マナー	3 件	B	認知症ケア外部研修後の伝達研修に計画性を図れずに未実施となる。
	2.外部教育件数	6 件	世田谷区実施の研修へ3回参加	0 件	C	コロナ過で長期間、外部研修を受講できず。
	(全国、都小多機連絡会への入会)		小多機連絡会開催の研修に年3回参加。	0 回	C	コロナ感染対策により研修の開催自体が見送られた
[D] リスク予知対策活動	1.ヒヤリハット報告書提出	年 200 件	朝夕の申し送りでリスク共有	年 148 件	B	発生したヒヤリを記入するのみで事故に繋がる内容のヒヤリが発生した場合の対策会議をしていなかった。
	2.KYT 実施	年 2 回	教育訓練計画書	0 回	C	KYTを理解できている職員が居なく発信できる人材がいなかった

	3.苦情、お客様の声記録	年 3 件	苦情・お客様の声記録書	1 件	B	職場の風通しが悪く、お客様から頂いた声、苦情を共有できる環境作りができていなかった
	4.リスク予知対策書	年 2 件	リスク予知対策書を基に部門会議を通して共有	0 件	C	リスク予知対策書を理解できている職員がいない
[E] 改善活動	1.働きやすい職場環境① 残業時間の管理	月 20.0h 以内	勤怠管理による残業の軽減	月平均 59.7h	B	コロナ感染対策での業務量が増えた。仕事の割り振りをしておらず主にケアマネジャー・看護師の業務量が増えてしまった。
		ノー残業デー	週一日のノー残業デー設定	年 1 2 回	B	コロナ感染対策で突発的な業務が発生し継続が難しかった
	②有給休暇の積極取得	取得率 70%		取得率 60 %	B	適宜、有給休暇の取得について職員に声をかけるも未達
	1.防災対策活動	年 2 回	防災計画、運営推進委員を招いての防災訓練実施	0 回	C	コロナ感染対策のため運営推進委員会は不参加
	2.地域交流活動	年 5 回	地域防災訓練、祭り等への参加	0 回	C	コロナ感染対策で地域防災訓練等の地域交流は図っていない
[F]他	3.地域広報活動	年 6 回	法人 HP、SNS 定期掲載	0 回	C	部署内で掲載担当者を配置しておらず未実施となる

MR 評価基準	<p>[評価：S (スペシャル)]大幅な成果を上げた場合</p> <p>[評価：A]計画値達成の場合</p> <p>[評価：B]計画値未達成の場合</p> <p>[評価：C]計画未着手の場合</p>
---------	--

【事業所名：トラス希望丘】【R2年度】事業報告書

計画作成日：2020年2月14日 作成者：渡辺 博明

報告作成日：2021年5月13日 作成者：石井 美代子

課題	計画目標	年度[目標値]	実施計画等	結果	MR 評価	事業報告結果コメント
[A] MP (事業基盤)	1.総サービス提供高	48,801,537円	大項目策定根拠 MP	30,574,000円	B	R1 年度分補助金余剰分返還金 8,991,773円の為
	2.経費合計	31,736,911円		31,205,878円		531,033円削減 消耗品備品の 見直しとコロナ衛生対策の補助 金があった為
	3.差引収益	17,064,626円		▲631,878円		
	4.総時間	12,289.0H		10,978.86H		
	5.時間当り	1722.7円		▲57.6円		補助金 31,850,000→22,017,000 へ変更になった為
[B] 顧客満足・ サービス 向上	1.トラス会の運営	年4回	6月9月12月3月実施	年3回実施	B	年4回予定が12月感染者の為中止
	2.アンケートの実施	年4回	6月9月12月3月実施	2回実施	B	
	3.地域行事への参加	年3回	利用者さんと地域納涼祭、秋祭 り等に参加していく	参加無し	C	緊急事態宣言等で参加なし
[C] 教育訓練	1.内部教育件数	年7件	教育訓練計画書	年10件	A	
	2.外部教育件数	年6件	研修報告書	3件	B	上期感染対策行えなかった
	3.身体拘束廃止委員会(ト ラス独自でも行う)	年4回	委員会計画書	年2回	B	特養合同にて6回トラス独自 で2回開催
	4.他都市型軽費との交流	年2回	研修計画書	交流無し	C	

5.楽晴会ケアの信条研修	年2回	研修計画書	年2回実施	A	
--------------	-----	-------	-------	---	--

[D] リスク予知対策活動	1.ヒヤリハット報告書提出	年50件	今年度より楽晴会フォーマットを用い実施	楽晴会フォーマット使用21件	B	月5件報告出来る様計画見直しする
[E] 改善活動	青少年交流センターからのボランティア強化	5名	昨年度3名よりセンター長との面談にて関係強化	ボランティア活動なし	C	感染対策の為実施なし
	職員効率化を図る	常勤換算 5.4⇒5.2	職員の効率を図り0.2常勤換算下げた職員数で運営する	常勤換算 5.4	B	年末年始に3名の入退職があった為重複勤務が多かった
	離職率低下	離職率 0%	3ヶ月に1度以上の面談	離職率 23%	B	コロナ感染後1名退職
	常時待機者1名必須	常に1名	退去があっても5日以内に入居となる体制作り	常に2名体制を行った	A	常に2名の待機者を確保していたが診断書の取り付けに時間がかかった
[F]他	防災計画の充実	2回	地域との協力防災訓練、トラスト独自のマニュアル作成	2回	A	協力防災訓練は行えなかったが特養・コラボ合同で行った
	残業時間削減	月3H以下	タイムキーパーにて管理	月平均6H	B	10月特養ヘルプが有った為
	小中高対象 地域福祉	年7回	昨年度行った小中高校生に対する施設見学、職場体験充実化	0回	C	コロナ感染対策の為、見学会・職場体験実施なし

MR 評価基準	<p>[評価：S（スペシャル）]大幅な成果を上げた場合</p> <p>[評価：A]計画値達成の場合</p> <p>[評価：B]計画値未達成の場合</p> <p>[評価：C]計画未着手の場合</p>
---------	--

課題	計画目標	2020年度 [目標値]	実施計画等	結果	MR 評価	事業報告結果コメント
[A] MP (事業基盤)	1.総サービス提供高	34,331,828円	月最低2名(2/w)の新規獲得、既存利用の方の増回、管理者が率先して有給休暇を取得(上半期3日以上)、経費(アメーバ)についての研修行い、節減効果の確認の実施。以上を踏まえ達成する	26,810,761円	B	年度初めよりMP目標値へ近づくべく新規獲得、収益増を続けてきたが、新型コロナウイルス感染拡大、ならびに車返拠点において感染が発生した影響もあり伸びが止まってしまう。そのため目標値の半分以下となってしまった
	2.経費合計	20,924,846円		21,711,915円		
	3.差引収益	13,406,982円		5,098,846円		
	4.総時間	14,252.00H		11,858.07H		
	5.時間当り	940.7円		430.0円		
[B] 顧客満足・ サービス 向上	1.サービスの質の維持・向上	サービス内容、要望や希望などを含めたアンケートを実施する(年2回予定)	現在利用の方は当日の雰囲気を感じて利用されているが、今後は利用人数増加を見込み、質の低下が懸念される。満足度の低下を起こさないよう、お客様目線の意識を持つための教育、取り組みを月1で行い振り返りを実施する	アンケートは実施に至らず	C	アンケートの作成、実施へ向けての準備が進めることが難しく実施できず。業務分散が課題となる
	2.お客様目線の意識づけ			取り組みの振り返り：月1での実施はできず	B	適宜、日別のお客様のご要望や実施内容等を検討、振り返りなど実施するも月1での定期で行えず
[C] 教育訓練	1.内部教育件数	10件	R1、R2研修への参加を確実にすること。加えて外部研修(認知症基礎研修 etc)を行ったあとの伝達・内部研修をその都度実施。その他は常勤・非常勤問わず、最低ひとつは研修を担当する	2件	B	研修内容等の検討時間確保が×
	2.外部教育件数	4件		0件	C	コロナ情勢もあり中止等のため
	3.アメーバを基にした 運営についての研修	管理者より随時		経費や収益等の説明は行った	B	業務過多もあってじっくり時間を確保して説明・研修することができず。今後も適宜伝えていく

[D] リスク予知対策活動	1.ヒヤリハット・苦情 お客様の声活用	1日1件目標	ヒヤリハット・苦情・お客様の声を最大限に活用。それを基に「リスク」という	147件	A	1日1件ベースを目標にそれぞれ意識を持って記載行えた
	2.リスク予知対策 ・リスクを考える ・未然に防ぐ	(上半期実施)	部分に重きを置き、起こりうる場面、出来事を想定し、未然に防ぐ方法を各職員に考えてもらい意見聴収する	適宜リスク想定からの意見聴収できたが・・・	B	ヒヤリハットを活用し意見や提言の聴収はできたが、リスク予知対策、ミニ改善等作成できず
	1.受入態勢を整備するための職員確保	車返コラボと連携し採用 (兼任勤務も)	相談案件を利用へ確実につなぐため職員を確保する。以前参加したお仕事カフェ(説明会)等への参加	職員態勢の構築は達成	A	説明会やお仕事カフェへの参加こそできなかったものの、車返デイに関しては有望な人材の確保が達成できた(受入態勢完了)
[E] 改善活動	2.送迎業務の負担軽減	運転担当採用	職員の送迎業務の負担が大きいため、軽減行うべく運転担当の採用を行う	募集活動は実施	B	運転職員の募集や声掛け等実施も採用へつながる応募者はなし
	3.介護の質の向上	自立支援の意識 (上半期めど)	職員による技術の差が大きいことから生ずる支援のバラつき解消へ「自立支援」の意識で接することを共有	支援についての情報共有行う	B	最低限度の部分は共有できたが細かい応用等にまで広げられず
	4.職員の有休7割取得			管理者以外達成	B	常勤・非常勤とも希望通り取得
[F]他	1.防災対策活動	3回	防災について法定訓練実施はもちろんのこと、地域の防災拠点の役割を担えるように備蓄など整備を行う(年度内)。ささえあい協議会等、地域の集まりへ毎月の参加を継続、地域貢献の一助を担う	1回	B	新型コロナの影響により難しい
	2.地域交流活動	12回		12回	A	地域の活動へは月1以上参加することができ、あらゆる場面で事業所の広報活動も実施できた
	3.地域広報活動	12回		12回		

MR 評価基準	[評価：S (スペシャル)]大幅な成果を上げた場合
	[評価：A]計画値達成の場合
	[評価：B]計画値未達成の場合
	[評価：C]計画未着手の場合

【事業所名：車返団地コラボケアセンター】 [R02年度]事業報告書

計画作成日：2020年2月13日 作成者：渡辺 富美

報告作成日：2021年5月13日 作成者(代行)：加納 一城

課題	計画目標	R2年度[目標値]	実施計画等	結果	MR 評価	事業報告結果コメント
[A] MP (事業基盤)	1.総サービス提供高	73,262,753円	大項目算定資料	56,872,649円	B	上半期こそ順調に数字が上がっていたものの年始めに新型コロナウイルス感染のクラスターが発生。それを契機に登録者減、事業所自体に課題が多くなり数字も失速してしまった影響により未達となる
	2.経費合計	25,547,114円		24,347,873円		
	3.差引収益	11,453,607円		32,524,776円		
	4.総時間	4,899.00H		20,029H		
	5.時間当り	1,800円		1,623.8円		
[B] 顧客満足・ サービス 向上	手順の統一	2020/12月 末まで	業務とケア手順書の見直し改定を行う 早・日・遅・夜勤・入浴・送迎・ (調理)	着手は行う	B	見直し等は行ってきたが職員採用も進まず、退職者なども重なったことコロナ感染拡大もあり見直しや改訂にまで至らなかった
	必要な情報提供と共有	2020/7 末まで	必要な情報を見やすく簡潔に。 実施記録のフォーマット改正	実施	A	職員とも話し合いや協議を行ってフォーマットの改正を実施済
	ケアの統一		情報共有の整理と実践のサイクルのスピードを上げる為、デスクネットの活用とカンファの実施。	進まず	B	その都度情報共有の機会などはあったがデスクネット活用はもとよりカンファレンスも思うように開催できず未達成となった
[C] 教育訓練	1.内部教育件数	8件	接遇、感染症、口腔ケア、熱中症、食中毒、虐待防止、緊急時の対応、家族支援について	3件	B	接遇や感染症などの研修は行ったが掲げた件数の実施を行うことができずコロナの影響含めて)
	2.外部教育件数	5件	認知症基礎研修(新入職者)・介護実践者研修2名、認知症リー	2件	B	認知症基礎研修、介護実践者研修への参加のみになったため

			<p>ダー研修 1 名 精神・医療的ケアの研修に 1 名 介護支援専門員更新研修Ⅱ 1 名</p>			
	3.常勤 8 名での夜勤体制の 確立	2021/3 末ま で	夜勤のケア統一の為、R2 クラス職員による研修同行を行ない、全ての常勤職員が夜勤業務行える体制づくり	職員不足解消 ができず	B	思うような職員の採用が進まなかったこと、退職職員が複数出てしまったことなどがあり未達。
[D] リスク予知対 策活動	① 予防活動	ミニ改善 4 件	実地指導で指摘があった清掃・ 整理整頓・設備・防災に関する 改善、	ミニ改善 1 件	B	クローゼットの使用方法の改善 についてのみ実施で未達成
	② ヒヤリハット	150 件	ヒヤリ、気づき合算	50 件	B	目標の件数を達成できなかった
[E] 改善活動	管理者業務の効率化と削減	2021/3 月末 まで	<p>以下の業務は職員が行い、管理者は指示、最終確認を行う流れを確立する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経費見積もり計算表を（現在作成中） 用いた MR 採算表の毎月の作成、 ・ご利用者様の次月の利用一覧表（通 い・訪問）毎月の情報収集及び作成、 ・毎日の朝、昼、夕の食事数の確認、変 更及び給食食材注文、毎月の経費見積も り、確定額の計算 ・日用品など経費見積もり、支払額の事 前見積もり作成 ・車両日報の計算、確認 ・府中市への書類の提出（送迎前後に誰 が提出してもいいものに限る） ・入電、見学者対応 ・タイムキーパー打刻失念回数の削減 	着手できず	C	職員の採用が進まなかったこと に加えて、新型コロナウイルス感 染のクラスターに起因し、さまざ まな問題や課題が発生。職員が 色々担う余裕を作れず。

	全職員、有休休暇の7割以上消化		<ul style="list-style-type: none"> ・有休発生月に個別にて促し ・会議や朝礼での取得呼びかけ 	概ね実施	A	新型コロナによる休業期間もあり有給休暇の取得が進んだため
	誰が休んでも統一したケアが提供できる体制づくり		<ul style="list-style-type: none"> ・情報共有の方法 ・経費や業務の担当者を単独から複数名に ・送迎、訪問のR2職員による同行研修行い、知恵と工夫と不安と気づきをお互いに学ぶ 	未着手	C	職員を巻き込んでの体制づくりができるような状況になく、着手することができなかった。情報共有についてはさまざまな場面で滞ってしまうことが多く、今後の大きな課題として残った
	CO2削減		<ul style="list-style-type: none"> ・訪問、送迎ルートの見直し、電動自転車使用にてCO2の削減 	ルート変更実施	C	ルートの見直しは行ったもののCO2削減名目で行ったということではないため未着手となる
[F]他	1.防災対策活動	計5回	事業所内外防災訓練（火災、地震、水害、夜間想定、通報、AED使用方法）	0回	C	新型コロナウイルス感染拡大の影響で実施できなかった
	2.地域交流活動	10回	団地商店街イベント、団地防災訓練に参加、中学生職場体験受け入れ、認知症カフェにコラボご利用者様と参加	0回	C	新型コロナウイルス感染拡大の影響で実施できなかった
	3.地域広報活動	8回	<ul style="list-style-type: none"> ・上記参加時にチラシ、新聞作成、配布や事業所の取り組みのPR 	0回	C	新型コロナウイルス感染拡大の影響で実施できなかった

MR 評価基準	<p>[評価：S（スペシャル）]大幅な成果を上げた場合</p> <p>[評価：A]計画値達成の場合</p> <p>[評価：B]計画値未達成の場合</p> <p>[評価：C]計画未着手の場合</p>
---------	--

課題	計画目標	年度[目標値]	実施計画等	結果	MR 評価	事業報告結果コメント
[A] MP (事業基盤)	1.総サービス提供高	1,479,000 円	令和元年 10 月料金改定運輸局変更済	1,485,800 円	A	新型コロナウイルスの影響にて受診等要請減、10月7日入金『三沢市一般乗用一般貸切旅客自動車運送事業支援助成金申請150,000円』あり収入保持、予定収入確保でき時間当たり予定より増によりA評価とした。
	2.経費合計	929,160 円	令和2年ドラレコ領収書・ガソリン経費	919,636 円		
	3.差引収益	563,040 円		566,164 円		
	4.総時間	1104.0 時間	時間移動 生活支援 100 時間	1006.00H		
	5.時間当たり	510.0 円		562.8 円		
[B] 顧客満足・ サービス 向上	① ニーズ調査	50 件	アンケート調査内容変更 (居宅・地域・個人)	11 件	B	近隣の居宅支援事業所にアンケート実施【介護タクシーの選択基準】料金35%DRの態度29%安全性23%その他13%予約のしやすさ他
[C] 教育訓練	①介護タクシー職員の 質の向上・研修	3 件	外部研修(適正研修)・感染 マナー	2 件	B	感染予防のため外部研修不参加 内部研修の感染対策参加
[D] リスク予 知対策活動	① 事故ゼロの取り組み	12 カ月	始業前点検徹底 様式変更	事故 0 件	A	9月様式変更実施
	②ヒヤリ気づき	12 件		10 件	B	
[E] 改善活動	①お客様の声分析	80 件	利用時のお客様からの声		C	感染状況によりアンケート未実施
[F]他	生活支援部門の充実	840 時間	自施設の作業環境圃場、 他施設時間移動(設備補修)	840 時間 3 回(4 時間)	A	A 重油管理、吸水ポンプの管理 車いす等施設内外設備点検対応

MR 評価基準	[評価：S(スペシャル)]大幅な成果を上げた場合 [評価：A]計画値達成の場合 [評価：B]計画値未達成の場合 [評価：C]計画未着手の場合
---------	---